

2022 年度 環境監視結果年報

2023 年 10 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、2016(平成 28)年 4 月、「中部国際空港に係る環境監視計画」を改定し、2016 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）の調査結果を①環境基準値との比較、②推移の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目 次

1. 気象の状況	1
2. 空港の運用状況	3
3. 環境監視結果及び評価	
航空機騒音	8
(1) 航空機騒音の評価指標	8
(2) 環境監視結果	10
ア 常時監視結果	12
イ 定期監視結果	19
(3) 航空機騒音の項目別比較検討	22
ア 環境基準値との比較	22
(ア) 常時監視結果	22
(イ) 定期監視結果	22
イ 推移	27
(ア) 常時監視結果	27
(イ) 定期監視結果	28
(4) 航空機騒音の評価	30

参考資料

1. 気象の状況

(1) 気象観測

名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、アメダス南知多観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

2022 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 17.8%を占めた。

表 1-1 名古屋、セントレア、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	2022年										2023年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.1 (3.3)	2.9 (3.0)	2.8 (2.7)	2.8 (2.7)	2.7 (2.9)	3.1 (2.7)	2.6 (2.6)	2.6 (2.6)	3.1 (2.8)	2.9 (3.1)	3.4 (3.4)	2.9 (3.5)	2.9 (2.9)	
	セントレア	5.1	4.6	4.4	4.2	4.1	5.3	4.7	5.4	7.8	6.6	6.6	4.6	5.3	
	南知多	3.0 (2.4)	2.7 (2.1)	2.6 (1.7)	2.4 (1.6)	2.4 (1.8)	2.7 (1.8)	2.4 (1.9)	2.8 (2.1)	3.6 (2.5)	3.3 (2.7)	3.9 (2.8)	2.8 (2.8)	2.9 (2.2)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW (NNW)	NNW (NNW)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	SE (SSE)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	
	セントレア	NW	NW	ESE	SE	ESE	ESE	NNW	NW	NW	NW	NNW	NW	NW	
	南知多	NW (NW)	NW (NW)	S (ESE)	S (ESE)	S (ESE)	ESE (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	

注1:名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、南知多はアメダス南知多観測所を示す。

注2:平均風速の名古屋、南知多の欄の下段()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。

注3:最多風向の名古屋の欄の下段()内の数値は、平成2年(1990年)～平成22年(2010年)の21年平均値(準平年値)である。

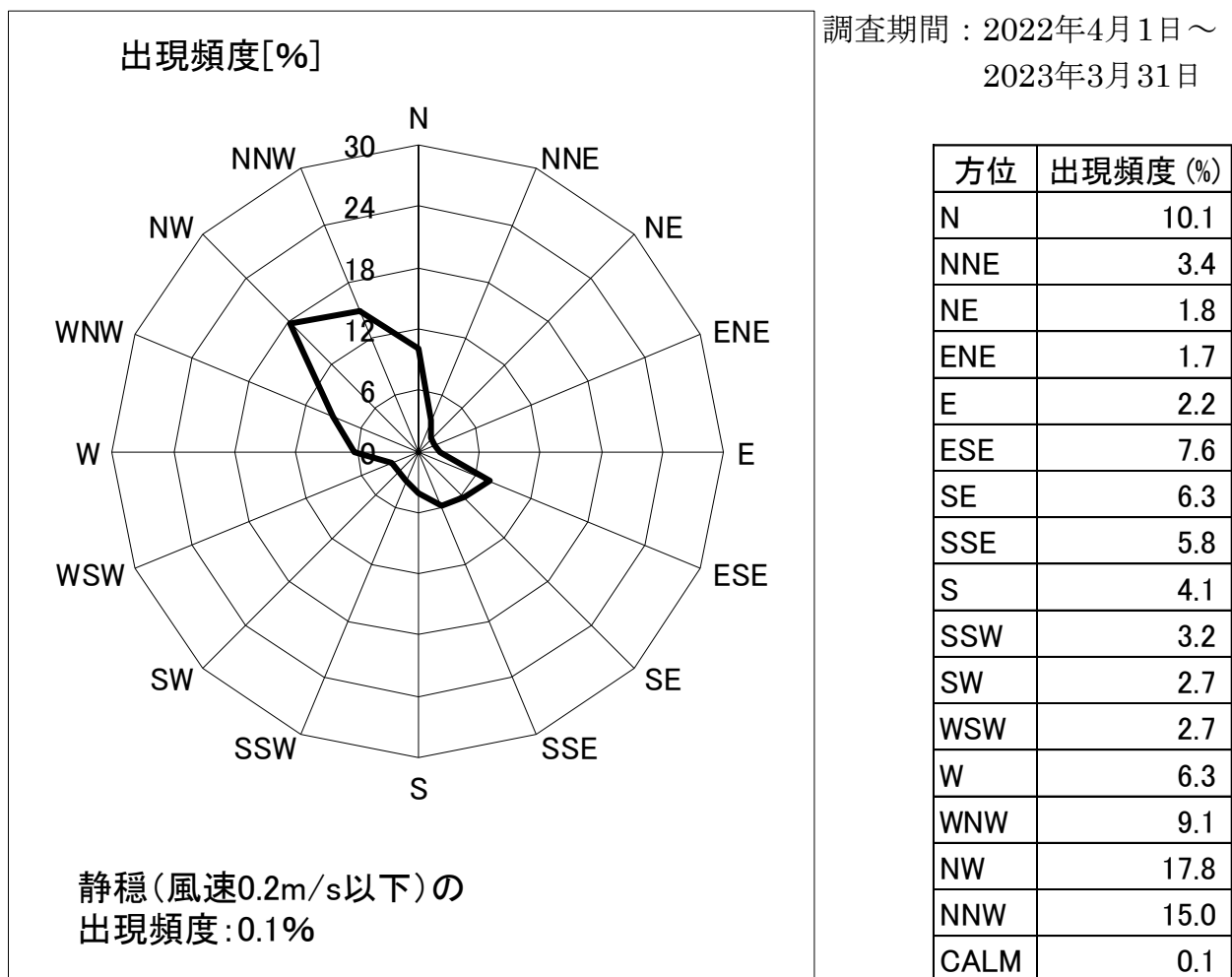
注4:最多風向の南知多の欄の下段()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。(南知多観測所:2000年11月に移設)

注5:年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

出典1. 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

2. 「セントレアの気象」(発行:中部航空地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/>)

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）



出典. 気象庁サイトのセントレアの気象データから集計、作成。

2. 中部国際空港の運用状況

2022年4月～2023年3月の中部国際空港の運用実績一覧については、表2-1のとおりである。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図2-1、図2-2、図2-3のとおりである。

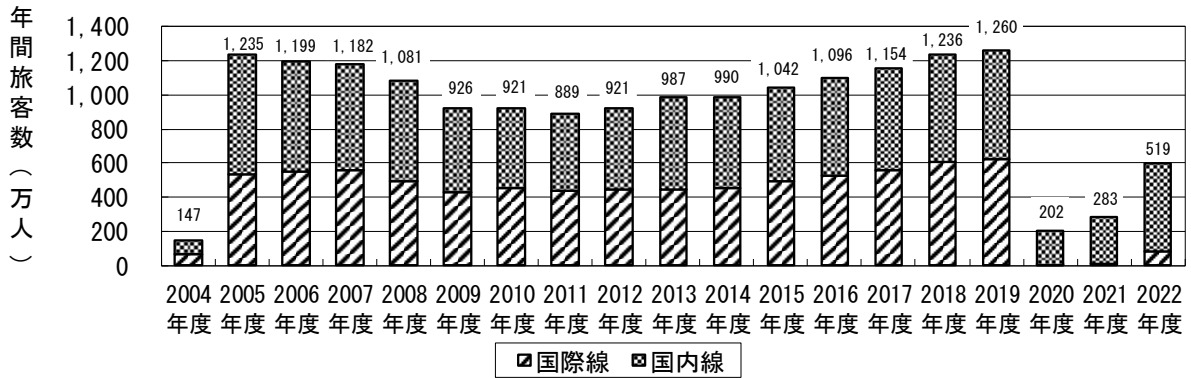
また、航空機発着の月別運用比率は図2-4およびその年度別推移は図2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図2-6、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表2-2のとおりである。

航空旅客数、航空貨物取扱量及び航空機の発着回数は国内・国際のいずれも増加した。

表 2-1 中部国際空港の運用実績一覧

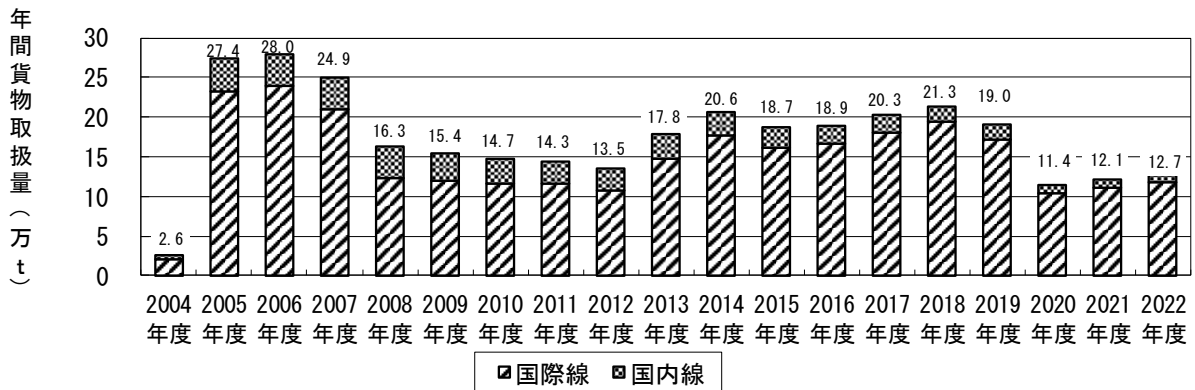
区分		確定値												年度計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月		3月	下期計
1.	航空旅客数	320,957 (161)	373,571 (226)	375,404 (278)	478,794 (215)	573,877 (216)	445,707 (281)	2,568,270 (224)	539,181 (198)	542,639 (170)	572,657 (166)	533,776 (216)	569,882 (346)	693,879 (205)	3,452,014 (205)	6,020,284 (213)
	国際線	20,293 (913)	21,149 (710)	23,899 (796)	36,337 (952)	45,885 (1347)	38,937 (1318)	186,500 (1015)	50,941 (1270)	73,134 (1575)	109,515 (1666)	126,636 (2560)	127,541 (2315)	151,480 (1343)	639,247 (1729)	825,747 (1492)
	日本人旅客	6,293 (599)	6,016 (407)	8,936 (533)	15,078 (622)	21,038 (1036)	16,328 (1118)	73,689 (728)	18,381 (957)	24,267 (1120)	34,338 (857)	37,331 (1327)	43,527 (2065)	64,089 (1448)	221,933 (1272)	295,622 (1073)
	外国人旅客	13,996 (1262)	15,089 (1005)	14,785 (1255)	21,037 (1616)	24,529 (1829)	22,447 (1543)	111,893 (1419)	32,360 (1561)	48,645 (1993)	74,787 (2964)	88,049 (4147)	82,054 (2418)	87,289 (1276)	413,184 (2131)	525,077 (1925)
	通過客	4	44	168	222	318	162	918	200	222	390	1,256	1,960	102	4,130	5,048
	国内線	300,664 (152)	352,422 (217)	351,505 (267)	442,457 (202)	527,952 (201)	406,770 (262)	2,381,770 (211)	488,240 (182)	469,505 (149)	463,142 (137)	407,140 (168)	442,341 (278)	542,399 (166)	2,812,767 (171)	5,194,537 (187)
2.	航空機発着回数	4,930 (114)	5,296 (141)	5,249 (151)	5,984 (157)	6,404 (141)	5,777 (147)	33,640 (141)	6,033 (136)	5,825 (126)	6,180 (123)	5,990 (123)	5,526 (151)	6,332 (131)	35,886 (327)	69,526 (1010)
	国際線	623 (99)	641 (116)	697 (132)	813 (152)	850 (173)	847 (155)	4,471 (136)	918 (144)	1,078 (155)	1,220 (167)	1,228 (181)	1,131 (208)	1,327 (203)	6,902 (175)	11,373 (158)
	旅客便	215 (269)	235 (267)	268 (362)	340 (337)	382 (398)	372 (330)	1,812 (330)	433 (328)	548 (422)	548 (436)	710 (599)	721 (572)	826 (483)	4,059 (473)	5,871 (417)
	貨物便	332 (87)	338 (107)	353 (104)	377 (128)	369 (140)	402 (133)	2,171 (144)	376 (103)	460 (110)	442 (115)	334 (95)	342 (116)	425 (110)	2,379 (108)	4,550 (111)
	その他	76 (46)	68 (46)	76 (67)	96 (69)	99 (75)	73 (54)	488 (59)	109 (77)	70 (48)	66 (37)	73 (39)	68 (54)	76 (80)	464 (53)	952 (56)
	国内線	4,307 (116)	4,655 (145)	4,552 (150)	5,171 (157)	5,554 (138)	4,930 (146)	29,169 (142)	5,115 (135)	4,747 (121)	4,960 (116)	4,762 (114)	4,395 (141)	5,005 (120)	28,984 (123)	58,153 (132)
	旅客便	4,168 (117)	4,517 (150)	4,369 (155)	5,053 (161)	5,353 (138)	4,737 (147)	28,197 (144)	4,903 (135)	4,562 (120)	4,775 (116)	4,605 (115)	4,186 (141)	4,769 (119)	27,800 (123)	55,997 (133)
	貨物便	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	その他	139 (87)	138 (70)	183 (127)	118 (78)	201 (139)	193 (137)	972 (103)	212 (121)	145 (145)	185 (116)	157 (97)	209 (139)	236 (140)	1,184 (126)	2,156 (114)
3.	国際貨物取扱量	8,850 (84)	8,102 (89)	9,137 (98)	9,566 (102)	9,036 (113)	10,764 (120)	55,455 (100)	12,397 (136)	11,141 (120)	11,340 (117)	7,748 (96)	9,367 (113)	9,948 (84)	61,941 (110)	117,396 (105)
	積込	4,873 (79)	4,347 (86)	5,008 (95)	5,055 (101)	4,837 (111)	5,427 (123)	29,544 (98)	6,519 (137)	6,149 (130)	6,149 (131)	4,105 (109)	5,139 (104)	5,242 (112)	32,909 (105)	62,456 (105)
	取卸	3,977 (92)	3,755 (92)	4,129 (102)	4,511 (103)	4,199 (114)	5,337 (132)	25,908 (103)	5,878 (134)	5,386 (112)	5,191 (104)	3,643 (84)	4,228 (127)	4,706 (93)	29,032 (108)	54,940 (106)
4.	国内貨物取扱量	836 (121)	711 (111)	741 (108)	895 (101)	792 (110)	758 (105)	4,734 (109)	800 (102)	835 (99)	998 (97)	676 (103)	701 (116)	825 (99)	4,835 (102)	9,569 (105)
	発送	415 (107)	349 (112)	366 (114)	402 (104)	372 (100)	380 (103)	2,283 (106)	413 (95)	481 (96)	563 (100)	354 (102)	385 (122)	448 (110)	2,643 (103)	4,926 (104)
	到着	421 (138)	362 (110)	376 (103)	493 (98)	421 (121)	379 (108)	2,452 (111)	387 (110)	354 (105)	435 (93)	322 (105)	316 (110)	377 (89)	2,192 (101)	4,643 (106)
5.	給油量	24,816 (100)	26,943 (116)	27,510 (126)	30,623 (131)	31,665 (132)	30,571 (132)	172,127 (123)	30,934 (124)	32,889 (125)	35,269 (127)	29,945 (111)	27,363 (123)	30,859 (114)	187,260 (120)	359,387 (121)
6.	構内営業売上高	495 (176)	554 (260)	552 (295)	698 (252)	800 (249)	674 (321)	3,773 (253)	839 (232)	898 (217)	1,082 (206)	1,008 (268)	939 (384)	1,083 (236)	5,849 (246)	9,622 (249)
	免税店	68 (930)	69 (974)	87 (1433)	126 (1627)	137 (1232)	124 (845)	610 (1131)	182 (1101)	231 (1355)	312 (969)	327 (1173)	310 (956)	316 (947)	1,678 (1051)	2,288 (1079)
	一般物販店	257 (151)	288 (234)	272 (243)	327 (206)	396 (200)	318 (255)	1,858 (209)	397 (182)	398 (161)	475 (149)	408 (187)	360 (271)	444 (164)	2,481 (177)	4,340 (189)
	飲食店	170 (165)	197 (239)	193 (278)	245 (222)	267 (238)	232 (328)	1,305 (238)	259 (204)	270 (181)	295 (169)	273 (211)	269 (322)	208 (208)	1,690 (206)	2,995 (219)
7.	来場者数	496 (158)	547 (203)	538 (218)	660 (196)	753 (207)	632 (244)	3,626 (203)	708 (185)	705 (166)	809 (160)	766 (193)	755 (259)	902 (186)	4,645 (187)	8,271 (193)
8.	駐車場利用台数	65 (159)	71 (207)	69 (244)	92 (206)	105 (201)	83 (247)	483 (207)	92 (182)	88 (160)	88 (147)	90 (185)	88 (251)	105 (171)	556 (177)	1,039 (190)

注1 ()内数値は対前年同月比、小数点第1位を四捨五入。
 注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部空港税関支署発表のもの。
 注3 集計表は増減処理の陽差。
 注4 一般物販店および飲食店は税抜表記。



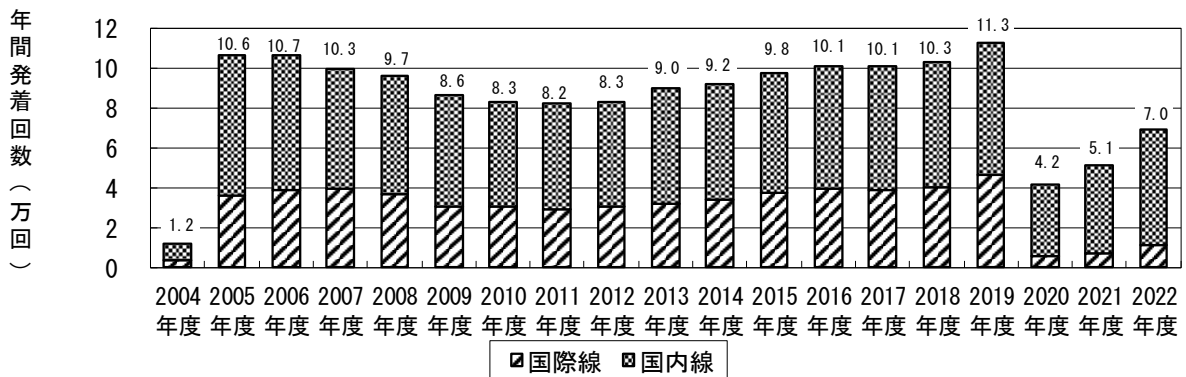
注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-1 航空年間旅客数の推移



注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移



注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移

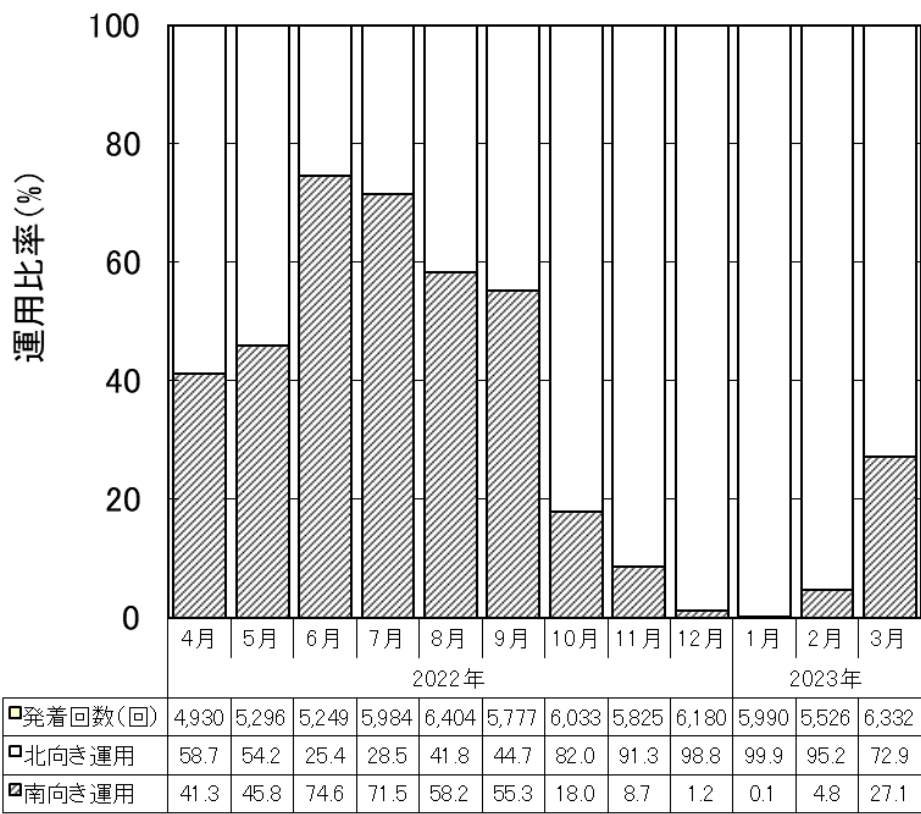
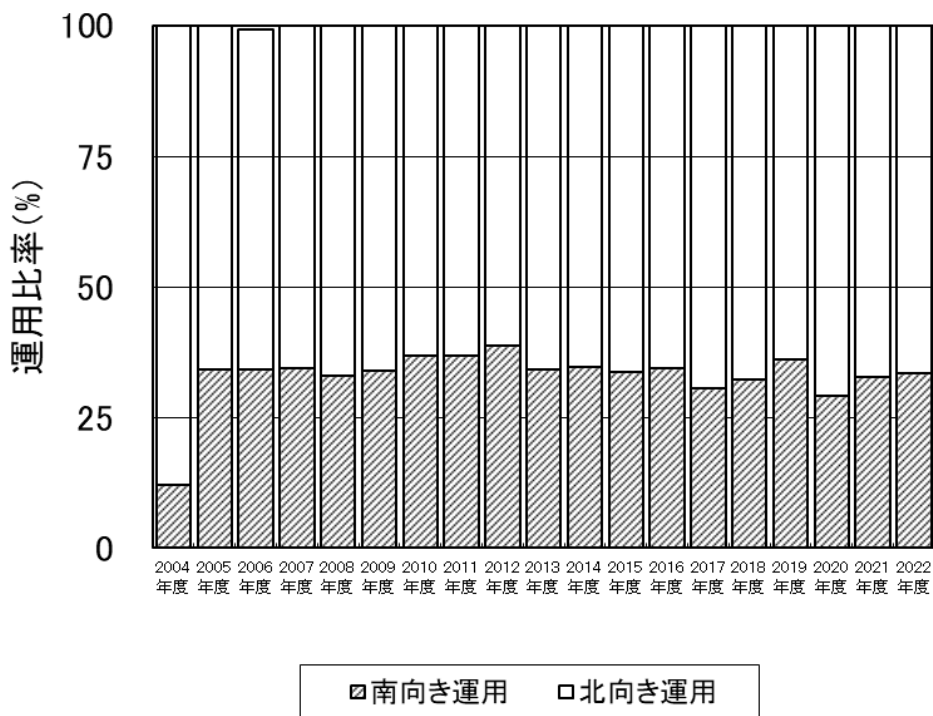


図 2-4 航空機発着の月別運用比率



注： 2004年度は2月17日～3月31日の運用比率であり、参考として示した。

図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移

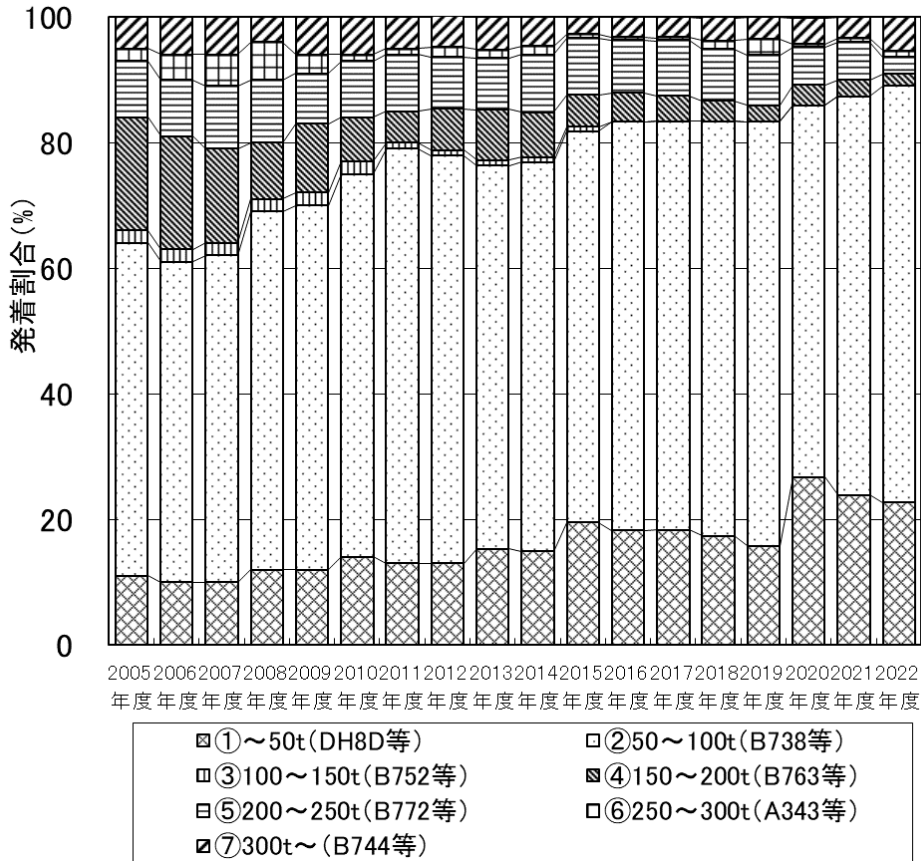


図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

表 2-2 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
⑦. 300t~	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA340-600
	エアバスA350-1000
	エアバスA380-800
アントノフAn-124	
⑥. 250~300 t	エアバスA340-300
	エアバスA350-900
	ボーイング777-200ER
⑤. 200~250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200
	ボーイング787-8、9、10
④. 150~200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
③. 100~150 t	ボーイング757-200
②. 50~100 t	エアバスA319、A320、A321
	エアバスA320neo、A321neo
	エアバスA220
	ボーイング737-400、500
	ボーイング737-700、800、900
	ボーイング737MAX8、MAX9
①. ~50 t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ-200、700
	サブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

3. 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 航空機騒音の評価指標

環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル（以下「マニュアル」という。）に基づき、2013(平成 25)年度から L_{den} （時間帯補正等価騒音レベル）（※1）により評価を行った。ただし、開港時からの推移を考慮し、2012 年度までの旧評価指標である $WECPNL$ （※2）を参考として示す。

なお、航空機騒音の評価指標が $WECPNL$ から L_{den} に変更されたことに対応するために、2011 年度に L_{den} 及び $WECPNL$ を算出できる航空機騒音監視システムに改修し、2012 年度から運用を開始している。

※1 L_{den} （時間帯補正等価騒音レベル）

1 日の間に観測された航空機騒音の単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を時間帯別に補正（午後 7 時から午後 10 時まではプラス 5 デシベル、午後 10 時から翌日午前 7 時まではプラス 10 デシベル）した後にエネルギー加算し、観測時間（1 日 = 86,400 秒）で平均してレベル表示した値。単位はデシベル [dB]。

一般の騒音の大きさを表す騒音レベルとは異なる。

算式 1

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\} \quad (\text{注})$$

$L_{AE,di}$: 午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における i 番目の L_{AE}

$L_{AE,ej}$: 午後 7 時から午後 10 時の時間帯における j 番目の L_{AE}

$L_{AE,nk}$: 午後 10 時から午前 7 時の時間帯における k 番目の L_{AE}

T_0 : 規準化時間（1 秒）

T : 観測 1 日の時間（86,400 秒 = 60 秒 × 60 分 × 24 時間）

関係する用語

ピークレベル : 航空機の騒音が発生するごとに観測される最大騒音レベルのこと。
単位はデシベル [dB]。

L_{AE} : 航空機 1 機が発生する騒音のエネルギー量。単位はデシベル [dB]。
単発騒音暴露レベルと言う。

L_{Aeq} : 時間帯ごとで算出している平均等価騒音レベル。単位はデシベル [dB]。

※2 WECPNL

WECPNL とは、加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことで、1973(昭和 48)年から 2012(平成 24)年度まで航空機騒音の評価指標として採用された。

19 時から 22 時までに発生した騒音の評価には、1 機騒音が発生したら 3 機分の重みを、22 時から翌日 7 時までに発生した騒音の評価には、10 機分の重みを付けている。単位はない。

算式 2

$$\text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

(注) $\overline{\text{dB(A)}}$: 航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上大きい騒音のピークレベルを 1 日のすべてについてパワー平均したもの。

N_1 : 0 時～7 時までに測定された機数

N_2 : 7 時～19 時までに測定された機数

N_3 : 19 時～22 時までに測定された機数

N_4 : 22 時～24 時までに測定された機数

(「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数を指す。)

(2) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1 のとおりである。

常時監視は、開港時から常滑市、美浜町、弥富市、木曾岬町の 4 市町において行っている。

また、本年度の定期監視は、夏期は 2022 年 7 月 6 日～12 日に 7 地点で、冬期は 2023 年 2 月 16 日～22 日に 3 地点で行った。航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点
常時監視		2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日	4 地点
定期監視 (注 1)	夏期	2022 年 7 月 6 日 ～ 2022 年 7 月 12 日	7 地点
	冬期	2023 年 2 月 16 日 ～ 2023 年 2 月 22 日	3 地点

常時監視局(注 2)	
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点(注 2)		調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期・冬期
T2	南知多町町民会館	冬期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

注 1：定期監視は各調査地点について 7 日間連続で測定を実施。

注 2：①～④及び T1～M4 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応。

注 3：④木曾岬町東部公民館において、測定機器の不具合のため、2022 年 6 月 30 日は欠測。

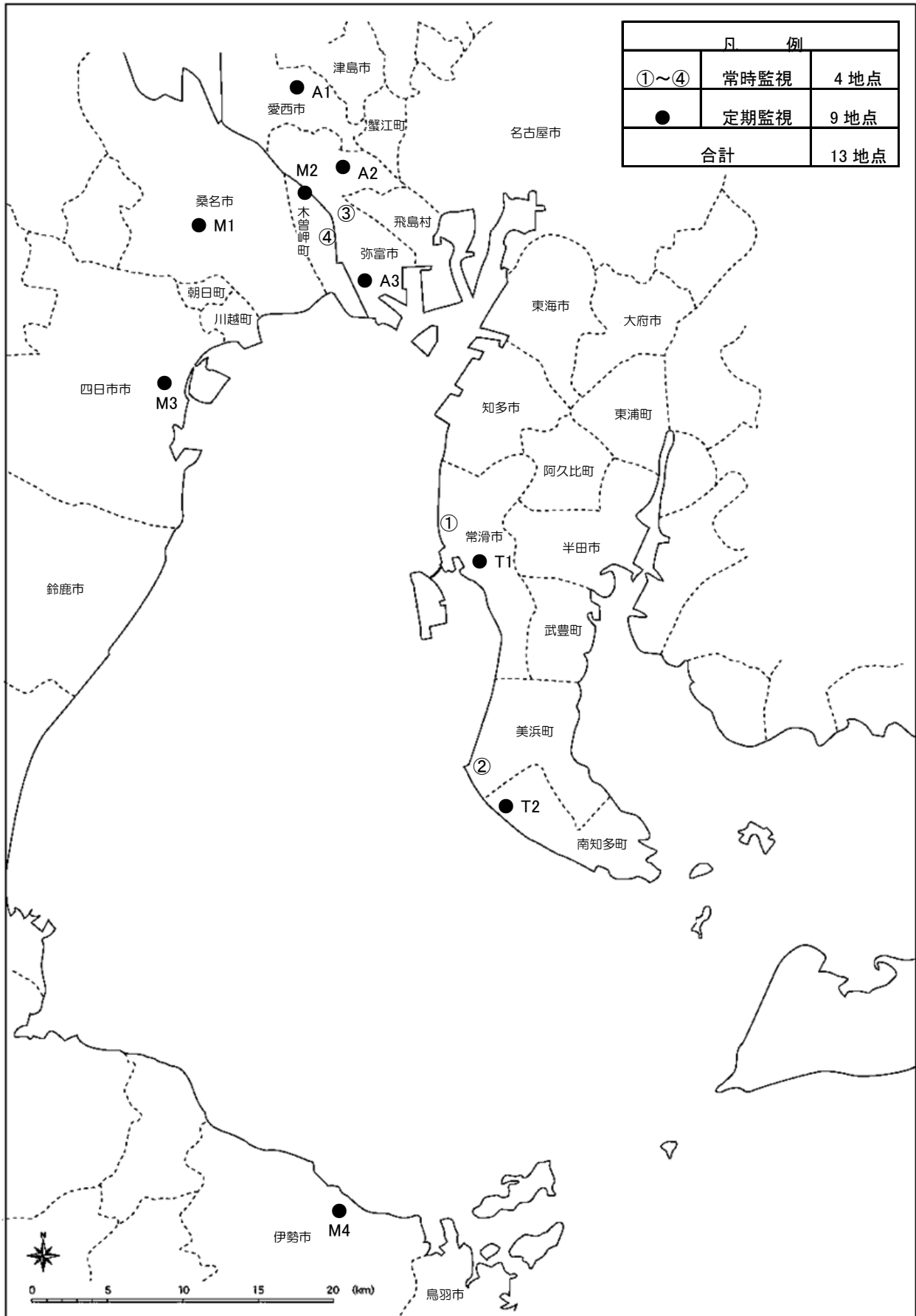


図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における航空機騒音調査結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

年間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校では 42dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 42dB、弥富市立大藤小学校では 42dB、木曾岬町東部公民館では 42dB であった。

各調査地点における月別の Lden 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。（環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル）

月間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校では年間を通して 39dB～43dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では年間を通して 40dB～44dB であった。これらに対し、弥富市立大藤小学校では 4月～10月及び3月が 40dB～45dB、11月～2月は 30dB～37dB、木曾岬町東部公民館では 4月～10月及び3月が 41dB～45dB、11月～2月は 30dB～37dB であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 990～2,200 機台で、中でも 3月が 2,269 機と最も多く、7月が 991 機と最も少なかった。

美浜町野間（ちびっこ広場）では 470～2,200 機台で、中でも 1月が 2,265 機と最も多く、8月が 476 機と最も少なかった。

弥富市立大藤小学校では 4月～9月は 750～1,500 機台で、中でも 7月が 1,545 機と最も多かった。10月～3月は 200～690 機台で、中でも 1月が 202 機と最も少なかった。

木曾岬町東部公民館では 4月～9月は 740～1,400 機台で、中でも 7月が 1,495 機と最も多かった。10月～3月は 180～760 機台で、中でも 1月が 181 機と最も少なかった。

年間機数は、常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館の順で、常滑市立鬼崎中学校が 20,000 機程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）は 16,000 機程度、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館はともに 9,400 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が着陸便に対して高くなることから、着陸便が多く測定される。

こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では滑走路が“北向き運用”の離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、“北向き運用”の着陸便が多く測定される。

一方、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では滑走路が“南向き運用”の着陸便が多く測定される。従って、月間の Lden

は、常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間(ちびっこ広場)では冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、4 地点とも 50～100t (ボーイング 737、エアバス 320 等) の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校では、200～250t (エアバス 330、ボーイング 787 等) の機材が多く、美浜町野間(ちびっこ広場)、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では 50t 以下(ボンバルディア DHC-8、CRJ 等)の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (測定された機数の年間合計に占める割合 47.8%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.3%であった。

美浜町野間 (ちびっこ広場) では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (同 57.5%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.5%であった。

弥富市立大藤小学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 54.6%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.5%であった。

木曾岬町東部公民館では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 61.2%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.4%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校)

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワー 平均値 (dB)	
2022年 4月	30	40	132	956	151	48	1,287	43	38	35	32	52	59	
5月	31	41	179	1,049	173	66	1,467	47	38	34	33	53	59	
6月	30	39	120	672	182	108	1,082	36	36	34	32	52	58	
7月	31	40	154	467	227	143	991	32	36	34	33	53	59	
8月	31	41	232	863	257	124	1,476	48	38	35	34	54	59	
9月	30	41	217	933	110	82	1,342	45	38	33	34	53	58	
10月	31	42	169	1,668	193	93	2,123	68	40	36	34	54	59	
11月	30	43	196	1,567	225	30	2,018	67	40	37	35	54	60	
12月	31	43	177	1,609	189	29	2,004	65	41	38	35	55	61	
2023年 1月	31	42	161	1,781	184	19	2,145	69	41	37	34	55	60	
2月	28	42	167	1,346	201	30	1,744	62	41	37	34	55	60	
3月	31	43	275	1,615	282	97	2,269	73	40	38	35	55	59	
年間値	365	42	2,179	14,526	2,374	869	19,948	55	39	36	34	54	59	

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワー 平均値 (dB)	
2022年 4月	30	42	83	623	247	63	1,016	34	37	38	34	52	60	
5月	31	42	100	628	198	51	977	32	37	37	35	52	60	
6月	30	41	96	363	131	58	648	22	35	35	34	51	60	
7月	31	40	76	325	190	56	647	21	34	36	33	51	59	
8月	31	40	78	142	176	80	476	15	34	36	33	52	61	
9月	30	40	61	585	15	34	695	23	36	29	34	50	59	
10月	31	43	93	1,096	434	152	1,775	57	39	40	35	53	58	
11月	30	43	105	1,203	522	177	2,007	67	39	41	36	54	58	
12月	31	44	93	1,283	496	188	2,060	66	40	41	35	56	60	
2023年 1月	31	43	97	1,467	519	182	2,265	73	40	41	35	55	59	
2月	28	44	96	1,072	407	168	1,743	62	40	41	36	55	59	
3月	31	43	123	1,183	393	155	1,854	60	39	39	35	53	58	
年間値	365	42	1,101	9,970	3,728	1,364	16,163	44	38	39	35	53	59	

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワ ー 平均値 (dB)	
2022年 4月	30	42	2	600	129	24	755	25	40	42	30	52	63	
5月	31	43	4	654	240	49	947	31	40	44	33	54	63	
6月	30	45	7	887	334	61	1,289	43	42	45	34	55	63	
7月	31	44	3	1,079	390	73	1,545	50	42	45	32	55	62	
8月	31	44	5	963	380	61	1,409	45	41	45	33	55	62	
9月	30	44	2	846	303	54	1,205	40	42	44	32	54	62	
10月	31	40	0	447	101	22	570	18	38	40	29	50	62	
11月	30	37	1	348	42	4	395	13	38	35	22	47	62	
12月	31	31	0	208	13	2	223	7	33	27	18	43	60	
2023年 1月	31	30	1	193	6	2	202	7	31	18	18	40	58	
2月	28	33	0	219	20	1	240	9	34	32	18	44	61	
3月	31	42	2	491	166	34	693	22	39	42	31	52	63	
年間値	365	42	27	6,935	2,124	387	9,473	26	39	42	30	52	62	

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2: 表中の「-」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったことを示す。

表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

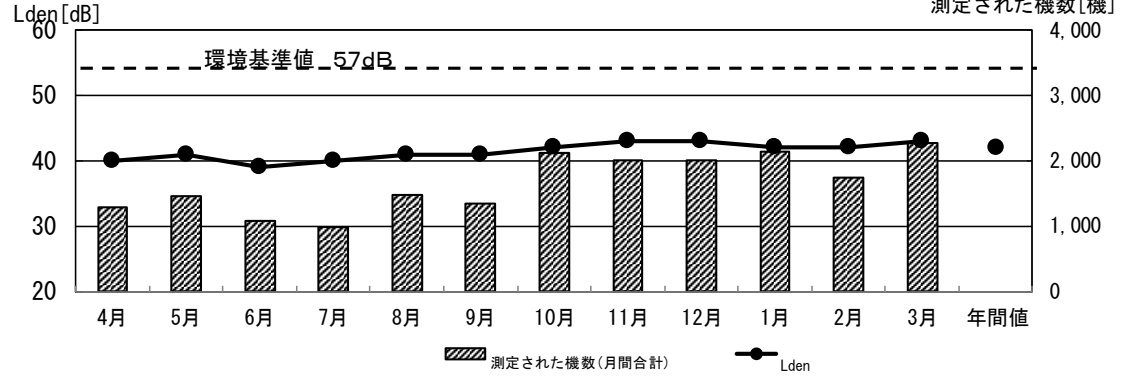
年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワ ー 平均値 (dB)	
2022年 4月	30	43	2	566	155	25	748	25	41	43	30	53	63	
5月	31	44	4	646	278	52	980	32	41	45	33	54	63	
6月	29	45	7	838	321	58	1,224	42	42	45	34	55	63	
7月	31	45	2	1,017	401	75	1,495	48	43	46	33	55	62	
8月	31	45	5	933	380	62	1,380	45	42	45	33	55	62	
9月	30	44	2	830	308	53	1,193	40	42	45	32	55	63	
10月	31	41	0	488	107	22	617	20	39	41	29	51	62	
11月	30	37	1	348	39	4	392	13	38	36	23	47	62	
12月	31	32	0	196	12	2	210	7	34	29	17	43	61	
2023年 1月	31	30	1	176	2	2	181	6	32	18	18	41	59	
2月	28	35	0	241	20	1	262	9	36	34	17	45	61	
3月	31	43	2	561	168	35	766	25	40	43	32	52	62	
年間値	364	42	26	6,840	2,191	391	9,448	26	40	43	31	52	63	

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

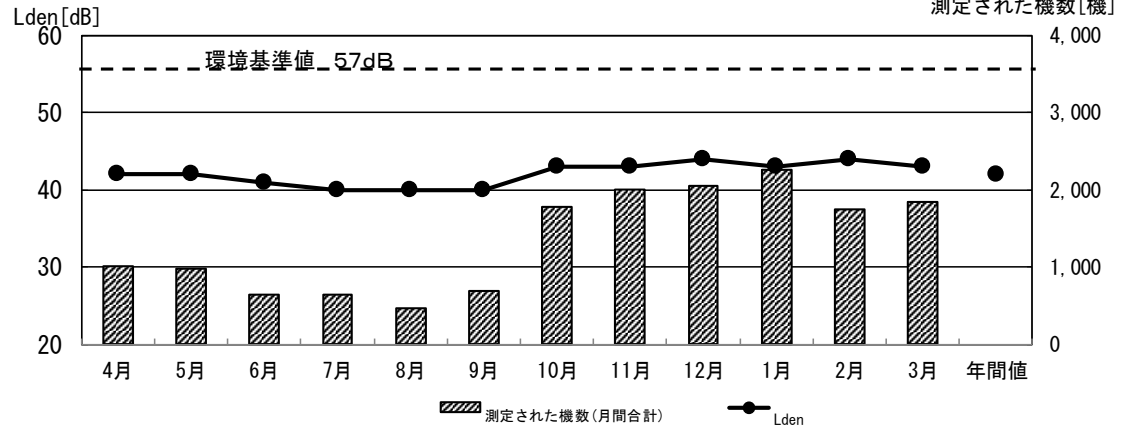
注2: 表中の「-」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったことを示す。

注3: 6月30日(木)は機器の不具合のため欠測。

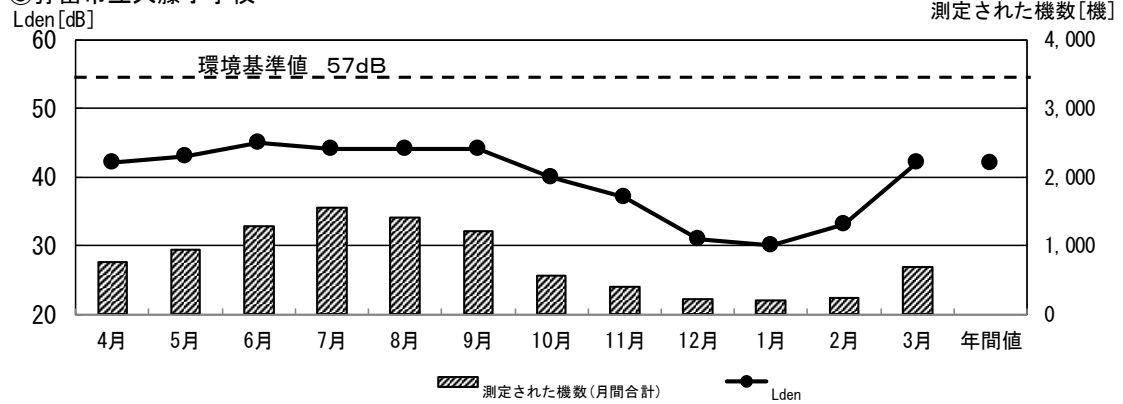
①常滑市立鬼崎中学校



②美浜町野間(ちびっこ広場)



③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館

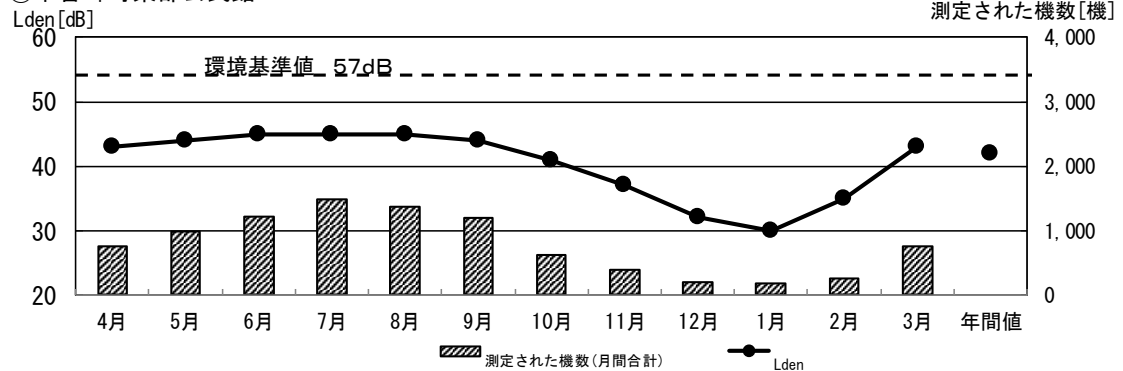
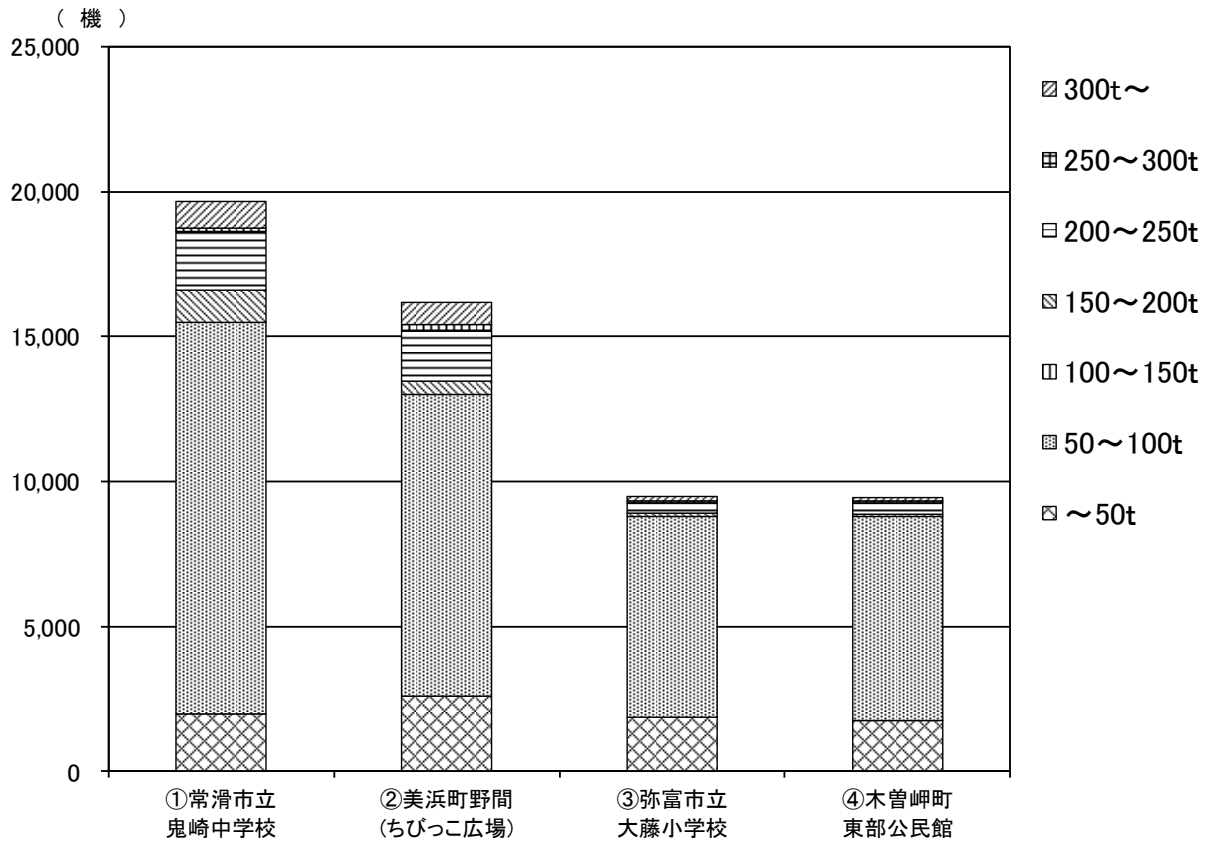


図 3-2 調査地点別の Lden 及び測定された機数



注1：調査期間は2022年4月1日~2023年3月31日

図 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

表 3-3 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA380-800
	アントノフ
250~300t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
200~250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
	ボーイング787-900
150~200t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100~150t	ボーイング757-200
50~100t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
~50t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サーブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

①常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数(注1)					合計 機数
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	
2022年4月	387	627	246	23	4	1,287
5月	517	703	221	20	6	1,467
6月	454	476	124	27	1	1,082
7月	396	410	146	32	7	991
8月	596	669	165	35	11	1,476
9月	500	655	161	21	5	1,342
10月	601	1,108	367	44	3	2,123
11月	450	1,037	460	65	6	2,018
12月	272	874	747	106	5	2,004
2023年1月	342	1,032	690	76	5	2,145
2月	364	831	490	49	10	1,744
3月	681	1,108	417	60	3	2,269
合計	5,560	9,530	4,234	558	66	19,948
割合(%)	27.9	47.8	21.2	2.8	0.3	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数(注1)					合計 機数
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	
2022年4月	278	568	131	26	13	1,016
5月	268	536	133	30	10	977
6月	238	272	103	30	5	648
7月	259	289	72	23	4	647
8月	120	241	85	22	8	476
9月	240	314	113	25	3	695
10月	424	1,122	203	22	4	1,775
11月	480	1,226	276	22	3	2,007
12月	265	1,191	549	43	12	2,060
2023年1月	381	1,404	437	35	8	2,265
2月	322	1,057	328	27	9	1,743
3月	544	1,072	212	22	4	1,854
合計	3,819	9,292	2,642	327	83	16,163
割合(%)	23.6	57.5	16.3	2.0	0.5	100.0

③弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数(注1)					合計 機数
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	
2022年4月	55	178	405	109	8	755
5月	47	234	546	116	4	947
6月	53	350	739	142	5	1,289
7月	87	441	888	123	6	1,545
8月	105	387	802	106	9	1,409
9月	70	297	727	104	7	1,205
10月	62	177	275	52	4	570
11月	68	128	157	40	2	395
12月	64	79	75	5	0	223
2023年1月	80	78	44	0	0	202
2月	32	90	111	7	0	240
3月	48	157	400	85	3	693
合計	771	2,596	5,169	889	48	9,473
割合(%)	8.1	27.4	54.6	9.4	0.5	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数(注1)					合計 機数
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	
2022年4月	27	133	457	124	7	748
5月	25	213	622	113	7	980
6月	24	252	787	158	3	1,224
7月	27	346	994	124	4	1,495
8月	47	318	907	102	6	1,380
9月	31	242	798	116	6	1,193
10月	62	156	347	47	5	617
11月	56	121	167	48	0	392
12月	31	71	97	11	0	210
2023年1月	43	77	59	2	0	181
2月	31	93	122	15	1	262
3月	52	193	423	96	2	766
合計	456	2,215	5,780	956	41	9,448
割合(%)	4.8	23.4	61.2	10.1	0.4	100.0

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

イ 定期監視結果

2022年度の定期監視は、夏期を2022年7月6日～12日に、冬期を2023年2月16日～22日に実施し、調査結果は、表3-5(1)、表3-5(2)のとおりである。

夏期の定期監視のLdenは31dB～44dBの範囲であり、冬期の定期監視のLdenは38dB～40dBの範囲であった。

夏期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(1)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、常滑市(T1)、弥富市(A3)、木曾岬町(M2)であった。

冬期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(2)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、南知多町(T2)、伊勢市(M4)であった。

また、各調査地点の測定機数は、常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立常滑西小学校(T1)は、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

空港島の南側にある南知多町町民会館(T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館(M4)は、到着機の通過が多くなる冬場に調査を実施している。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所(A1)、弥富市十四山西部小学校(A2)、弥富市鍋田公民館(A3)、三重県の桑名市大山田地区市民センター(M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設(M2)、四日市市海蔵地区市民センター(M3)は、到着機の通過が多くなる夏場に調査を実施している。

表 3-5(1) 航空機騒音調査結果（定期監視：夏期）

調査期間：2022年07月06日(水)～07月12日(火)

調査地点				測定日数 (日)	L _{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別L _{den} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒール レベルの パラー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	37	31	82	31	18	162	23	33	30	30	50	58
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	7	31	0	49	23	5	77	11	31	30	19	44	57
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	40	0	120	45	9	174	25	38	40	27	51	61
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	44	0	203	63	10	276	39	42	44	30	54	63
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	7	33	0	40	17	3	60	9	31	33	21	44	59
	M 2	木曽岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	39	0	175	50	8	233	33	38	39	26	49	58
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	31	0	39	7	0	46	7	33	31	—	41	59

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

注3：表中の「—」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったを示す。

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果（定期監視：冬期）

調査期間：2023年02月16日(木)～02月22日(水)

調査地点				測定日数 (日)	L _{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別L _{den} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒール レベルの パラー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	40	51	275	36	6	368	53	38	33	32	53	58
	T 2	南知多町	町民会館	7	38	19	147	70	27	263	38	37	35	29	52	59
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	40	16	105	33	13	167	24	39	34	31	53	62

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-6(1) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：夏期）

調査期間：2022年07月06日(水)～07月12日(火)

調 査 地 点				測定された機数 (機) (注1)					
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	90	54	13	4	1	162
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	41	28	7	1	0	77
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	14	72	83	5	0	174
	A 3	弥富市	鍋田公民館	2	62	177	33	2	276
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	12	34	12	2	0	60
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	85	111	32	4	1	233
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	3	34	9	0	0	46

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-6(2) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：冬期）

調査期間：2023年02月16日(木)～02月22日(水)

調 査 地 点				測定された機数 (機) (注1)					
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	105	202	56	5	0	368
	T 2	南知多町	町民会館	114	107	31	10	1	263
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	45	69	42	10	1	167

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

(3) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 Lden 57dB（表 3-7））と比較した。

② 推移

5年間の推移から変動傾向を把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

2022 年度の常時監視 4 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-7 のとおりである。

Lden は、常滑市立鬼崎中学校では 42dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 42dB、弥富市立大藤小学校では 42dB、木曾岬町東部公民館では 42dB であった。

環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 Lden 57dB、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の Lden は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった（P16 図 3-2 参照）。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

2022 年度の夏期定期監視 7 地点、冬期定期監視 3 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-9 のとおりである。

Lden は 31dB～44dB の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、全ての調査において航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、2022 年 7 月に実施した定期監視（夏期）は南向き運用の比率が高く、空港島の北側にある愛知県の愛西市（A1）、弥富市（A2、A3）や三重県の桑名市（M1）、木曾岬町（M2）、四日市市（M3）は、南向き運用の着陸便の影響を受けた値となっている。2023 年 2 月に実施した定期監視（冬期）は、北向き運用の比率が高く、愛知県の南知多町（T2）、三重県の伊勢市（M4）は、北向き運用の着陸便の影響を受けた値となり、同様に常滑市（T1）は、北向き運用の離陸便の影響を受けた値となっている。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

表 3-7 航空機騒音に係る環境基準

< 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準 >

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛 知 県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	Lden 57dB 以下	平成 1 8 (2006)年 4月 1 日
三 重 県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成 1 9 (2007)年 4月 1 日

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)

改正 平5環告91

改正 平12環告78

改正 平成19年環告114

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

(出典：環境省HP)

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：2022年4月1日～2023年3月31日

調査地点	環境基準		L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)		時間帯別 L_{Aeq} (dB)			測定 日数 (日)	(参考)	
	地域 の 類型	環境 基準値 L_{den} (dB)		年間	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00		WECPNL	ヒール レベルの パワー平均 値 (dB)
①常滑市立 鬼崎中学校	I	57以下	42	19,948	55	39	36	34	365	54	59
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	I	57以下	42	16,163	44	38	39	35	365	53	59
③弥富市立 大藤小学校	I	57以下	42	9,473	26	39	42	30	365	52	62
④木曾岬町 東部公民館	I	57以下	42	9,448	26	40	43	31	364	52	63

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：木曾岬町東部公民館は機器の不具合のため1日欠測があった。

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調査地点				環境基準		調査期間 (注2)	測定 日数 (日)	調査結果			
地区	番号	市町村名	施設名称	地域 の 類型 (注1)	環境 基準値 (dB)			L_{den} (dB)	測定され た機数 (機) (注3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	(参考) WECPNL
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	37	162	23	50
						調査期間2	7	40	368	53	53
	T2	南知多町	町民会館	I	L_{den} 57以下	調査期間2	7	38	263	38	52
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	—	—	調査期間1	7	31	77	11	44
	A2	弥富市	十四山西部小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	40	174	25	51
	A3	弥富市	鍋田公民館	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	44	276	39	54
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター(注4)	—	—	調査期間1	7	33	60	9	44
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	39	233	33	49
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	—	—	調査期間1	7	31	46	7	41
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	—	—	調査期間2	7	40	167	24	53

注1：「—」は、類型指定されていないことを示す。

注2：調査期間1：2022年07月06日(水)～07月12日(火)

調査期間2：2023年02月16日(木)～02月22日(水)

注3：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注4：大山田地区市民センターでの設置作業が困難なため、陵成中学校にて実施した。

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

(単位：dB)

No.	調査地点	調査実施期間	調査結果	環境基準	調査機関
1	海部郡飛島村大字服岡八丁目	7/3 ~ 7/9	33	57	愛知県
		1/9 ~ 1/15			
2	弥富市鍋田町稲山	6/24 ~ 6/30	41	57	愛知県
		1/17 ~ 1/23			
3	常滑市樽水町二丁目	6/16 ~ 6/22	39	57	愛知県
		1/25 ~ 1/31			
4	知多郡美浜町大字上野間字泉乙	5/31 ~ 6/6	34	57	愛知県
		2/2 ~ 2/8			
5	知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘	6/8 ~ 6/14	34	57	愛知県
		2/10 ~ 2/16			
6	愛西市稲葉町米野	7/12 ~ 7/18	34	-	愛知県
7	知多市南粕谷本町三丁目	2/18 ~ 2/24	35	-	愛知県

(注) No. 1 は施設の電源不具合のため、2019年度冬季から測定地点を変更した。

(注) No. 6, 7 は環境基準の地域類型を指定した地域外の調査地点である。

注1：- は類型指定されていないことを示す。

注2：2023年9月末時点で公表されている調査結果を掲載。

出典：愛知県ホームページ「2022年度交通騒音・振動調査結果について」から抜粋。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点 木曾岬町東部地区クリーンセンター
 調査期間 令和4年6月21日(火)～6月27日(月)

調査日	評価値 L _{den} [dB]	参考値						
		航空機騒音の L _{Aeq} [dB]			騒音発生回数			
		L _{Aeq,d}	L _{Aeq,e}	L _{Aeq,n}	昼間	夕方	夜間	計
6月21日(火)	42.0	40.9	43.9	-	21	8	0	29
6月22日(水)	41.4	41.4	42.5	-	20	7	0	27
6月23日(木)	41.2	41.8	41.5	-	24	7	0	31
6月24日(金)	43.5	40.1	44.6	31.9	22	14	3	39
6月25日(土)	41.6	41.0	38.9	31.4	28	4	3	35
6月26日(日)	43.5	42.0	43.2	32.2	36	11	3	50
6月27日(月)	43.6	38.8	43.6	34.3	16	12	4	32
測定期間全体	42.5	41.0	42.9	30.2	24	9	2	35

令和4年度 航空機騒音 地点別調査結果一覧表

地点 番号	測定場所	用途地域	地域 類型	評価値 L _{den} [dB]	測定期間
1	木曾岬町東部地区 クリーンセンター (桑名郡木曾岬町和富 10-2)	工業地域	I	42.5	短期測定 6/21 ~ 6/27

出典：三重県環境生活部大気・水環境課ウェブサイトから抜粋。

イ 推移

(ア) 常時監視結果

中部国際空港の航空機騒音の変動傾向を把握するため、5年間の常時監視調査結果の推移をとりまとめた。常時監視結果の推移は、表 3-12 及び図 3-4 のとおりである。

表 3-12 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

測定地点	常時監視局結果の年間の推移				
	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
①常滑市 鬼崎中学校	44(注2)	43(注2)(注3)	41	41	42
	69(注2)	81(注2)(注3)	34	41	55
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	44	44	41	42	42
	62	68	26	30	44
③弥富市 大藤小学校	45	45	39	41	42
	46	53	16	19	26
④木曾岬町 東部公民館	45	45	39	41	42(注4)
	47	53	16	19	26(注4)

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2018年8月9日～2019年3月31日までは、校舎改修工事のため、常滑市立鬼崎西保育園で測定を実施。

注3:2019年5月30日～2019年5月29日までは、測定機器の再設置工事のため欠測。

注4:2022年6月30日は、測定機器の不具合のため欠測。

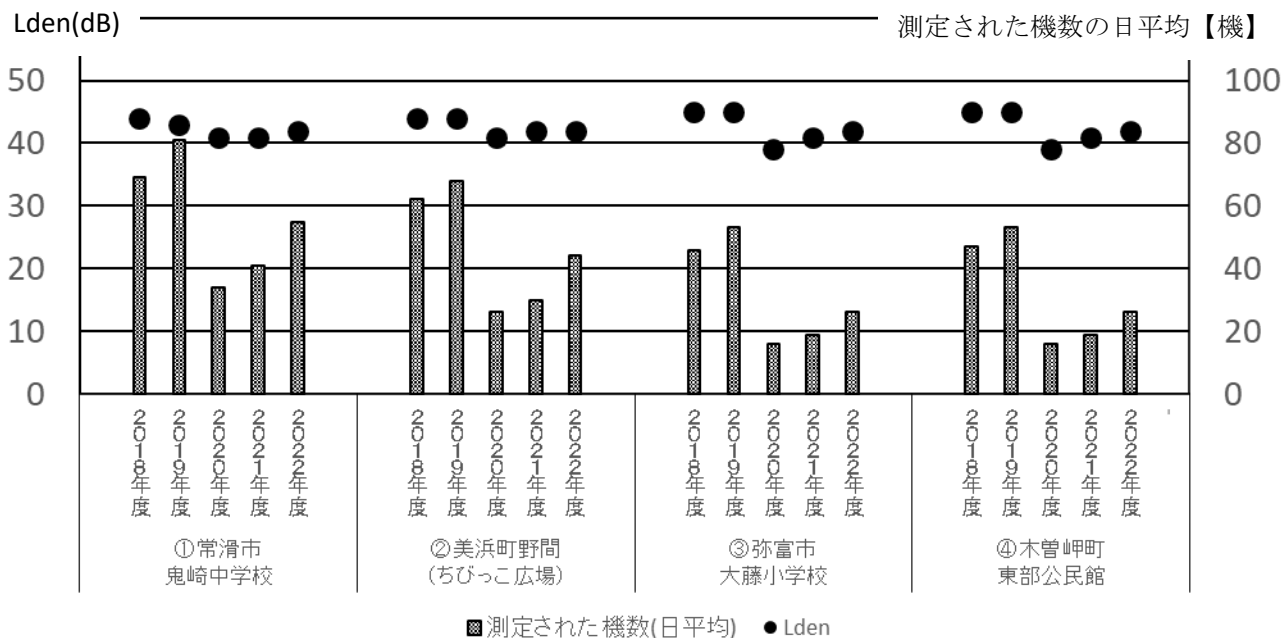


図 3-4 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

4局とも2022年度は前年度と比較して、測定された機数は増加しており、Ldenについても同程度か上昇した。

(イ)定期監視結果

定期監視結果の変動傾向を把握するため、5年間の調査結果の推移をとりまとめた。夏期監視結果の推移は、表 3-13(1)及び図 3-5(1)、冬期監視結果は、表 3-13(2)、図 3-5(2)のとおりである。

なお、2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に便数が減少したため、定期調査は中止した。

表 3-13(1) 5年間のLden及び測定された機数の推移(定期監視:夏期)

調査地点				定期監視結果(夏期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2022年度
愛知県	知多	T1 常滑市	常滑西小学校	39	40	40	39	37
				54	63	45	52	23
	海部	A1 愛西市	愛西市役所	38	39	36	41	31
				29	30	21	46	11
		A2 弥富市	十四山西部小学校	43	44	42	45	40
				64	58	56	83	25
A3 弥富市	鍋田公民館	46	47	45	48	44		
		62	63	58	94	39		
三重県	M1 桑名市	大山田地区市民センター (注2)	35	38	38	37	33	
			12	19	16	20	9	
	M2 木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	41	43	40	43	39	
			57	61	44	83	33	
	M3 四日市市	海蔵地区市民センター	37	38	37	39	31	
			15	20	16	17	7	

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2016年度から陵成中学校で測定を実施。

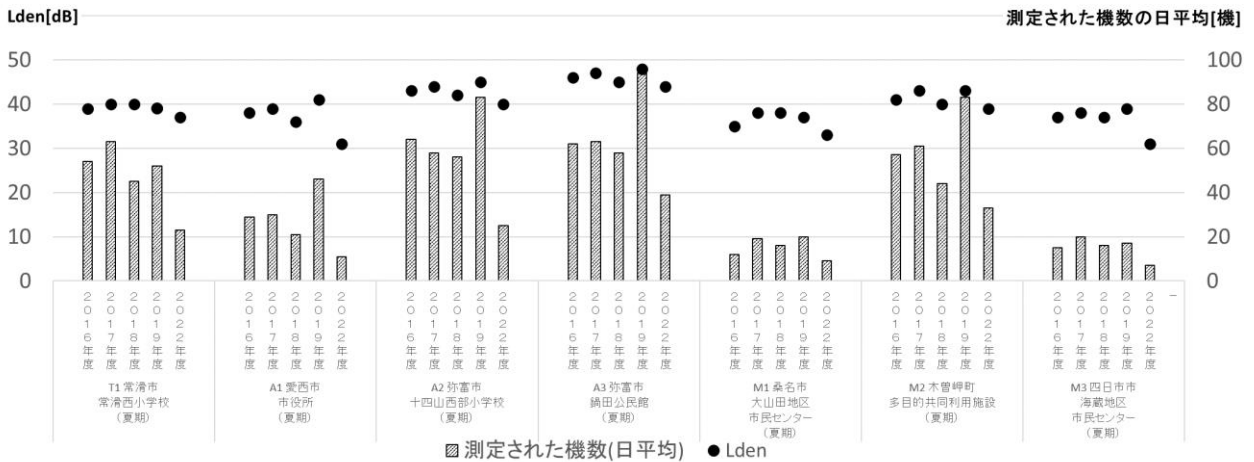


図 3-5(1) 5年間のLdenと測定された機数の推移(T1,A1,A2,A3,M1,M2,M3)

表 3-13(2) 5年間のLden、測定された機数の推移（定期監視：冬期）

調査地点				定期監視結果(冬期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2022年度
愛知県	T1	常滑市	常滑西小学校	42	40	42	40	40
				100	69	85	62	53
	T2	南知多町	町民会館体育館	39	38	38	40	38
				48	39	43	34	38
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	40	40	41	39	40
				27	34	40	29	24

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

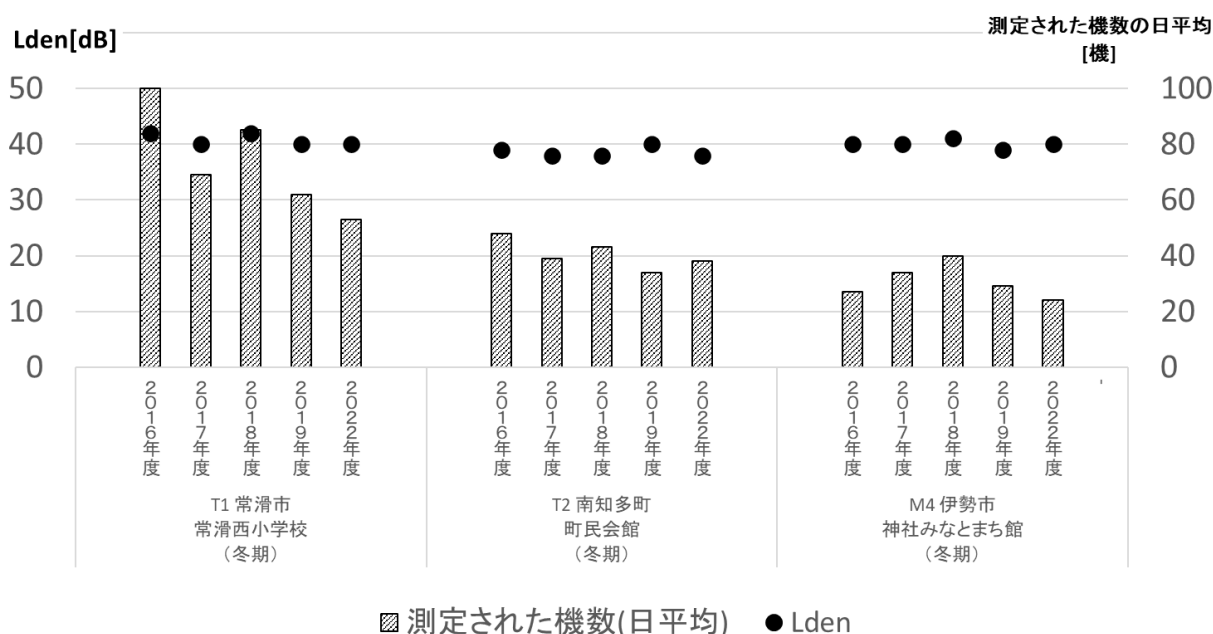


図 3-5(2) 5年間のLdenと測定された機数の推移 (T1,T2,M4)

夏期は、各年度測定期間の風向により測定された機数に変動があることに加え、新型コロナウイルスで減少した便数が回復途中であることから、2022年度はいずれの地点も Lden 及び測定された機数の両方で減少または低下がみられた。冬期は風向が一定しており、測定された機数、Lden とも毎年度同程度で推移している。

(4) 航空機騒音の評価

2022年度の常時監視4局の年間のLdenは42dBで、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全監視局で環境基準を満たしていた。

なお、Ldenに関しては、美浜局は前年度と同程度であったが、常滑局、弥富局及び木曾岬局は前年度と比較して1dBの上昇であった。

2022年度の定期監視9地点の調査期間中のLdenは31dB~44dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また2016年~2019年の4年間と2022年のLdenは同程度か低下した。

以上より、2022年度の常時監視及び定期監視の結果は環境基準を満たしており、5年間の推移でも大きな変化はみられなかった。

中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会

委員 三重大学大学院教授
名城大学教授

寺島 貴根
岡田 恭明

参考資料 1

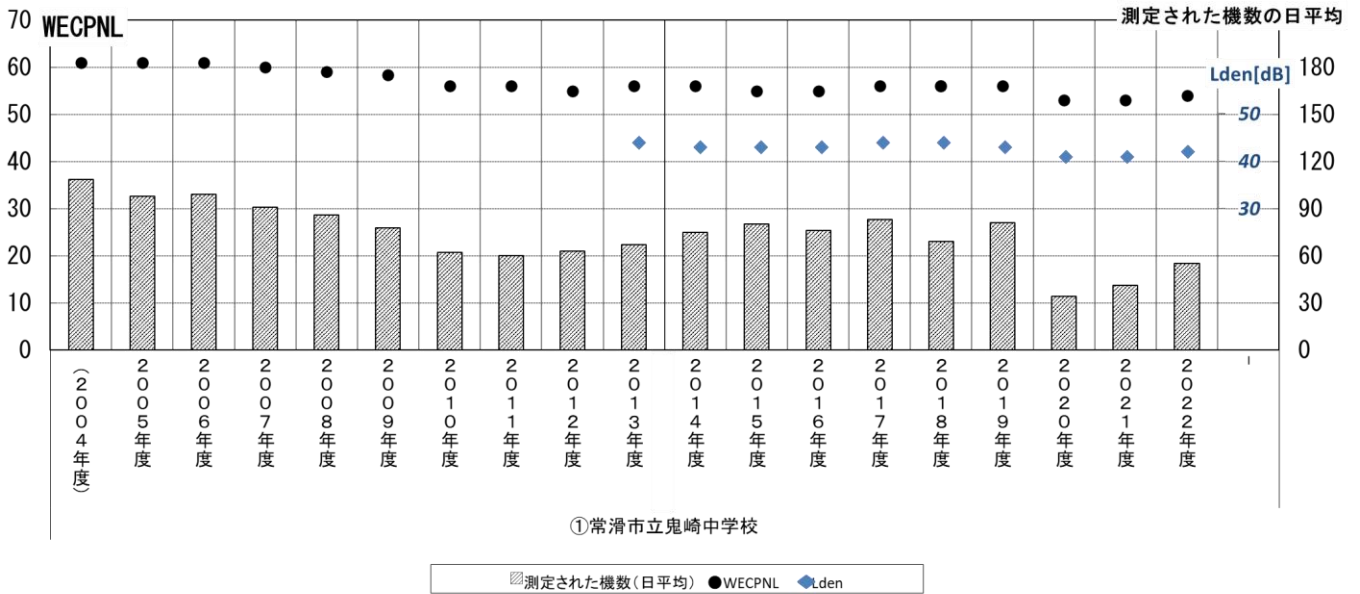
開港からの推移

常時監視結果

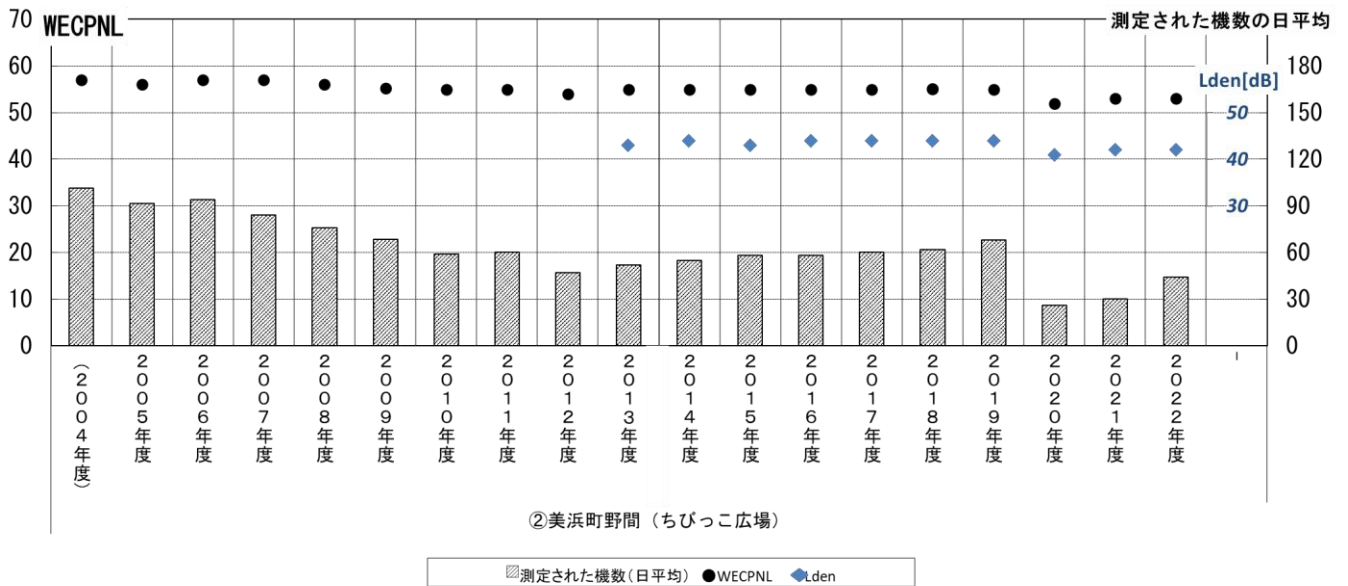
調査地点	Lden(dB) : 上段 測定された機数の日平均(機) : 中段 (注1) WECPNL(単位なし) : 下段 (注2)																		
	2004年度 (注3)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
①常滑市立 鬼崎中学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	43	43	43	44	44(注6)	43(注6)	41	41	42
	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63	67	75	80	76	83	69(注6)	81(注6)	34	41	55
	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(56)	(56)	(55)	(55)	(56)	(56)(注6)	(56)(注6)	(53)	(53)	(54)
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	43	44	43	44	44	44	44	41	42	42
	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47	52	55	58	58	60	62	68	26	30	44
	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(52)	(53)	(53)
③弥富市立 大藤小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	45	45	45	45(注5)	45	45	39	41	42
	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43	41	43	45	46	43(注5)	46	53	14	19	26
	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(55)	(56)	(56)	(56)	(55)(注5)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)
④木曾岬町 東部公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	/	45	46	46	45	45	45	45	39	41	42
	(6)(注4)	13(注4)	10(注4)	49	43	39	41	40	43	42	44	47	48	45	47	53	14	19	26
	(47)(注4)	49(注4)	48(注4)	58	57	57	56	56	56	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)

注1 : 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2 : 開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の () 内にWECPNLを参考値として記載。
 注3 : 2004年度は、2005年2月17日～3月31日までの値で、 () 内に参考値として記載。
 注4 : 木曾岬町南部クリーンセンターでの測定値。
 注5 : 2017年7月1日～9月30日までは、弥富市立大藤保育園での測定値。
 注6 : 2018年8月9日～2019年5月29日までは、常滑市立鬼崎西保育園での測定値。

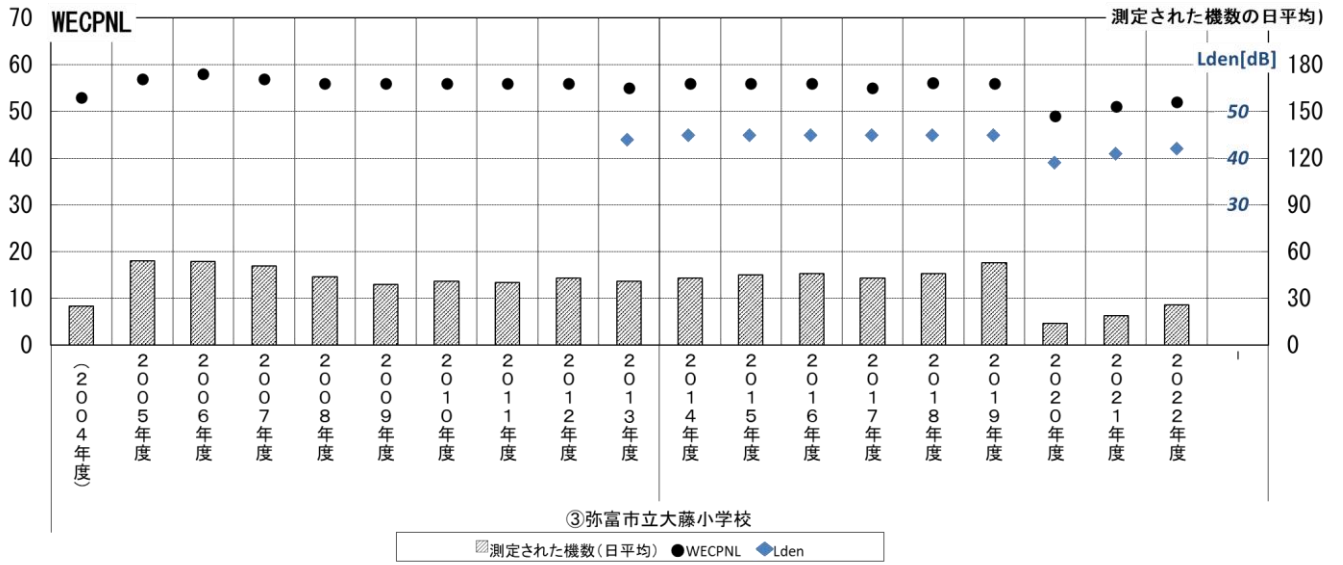
① 常滑市立鬼崎中学校



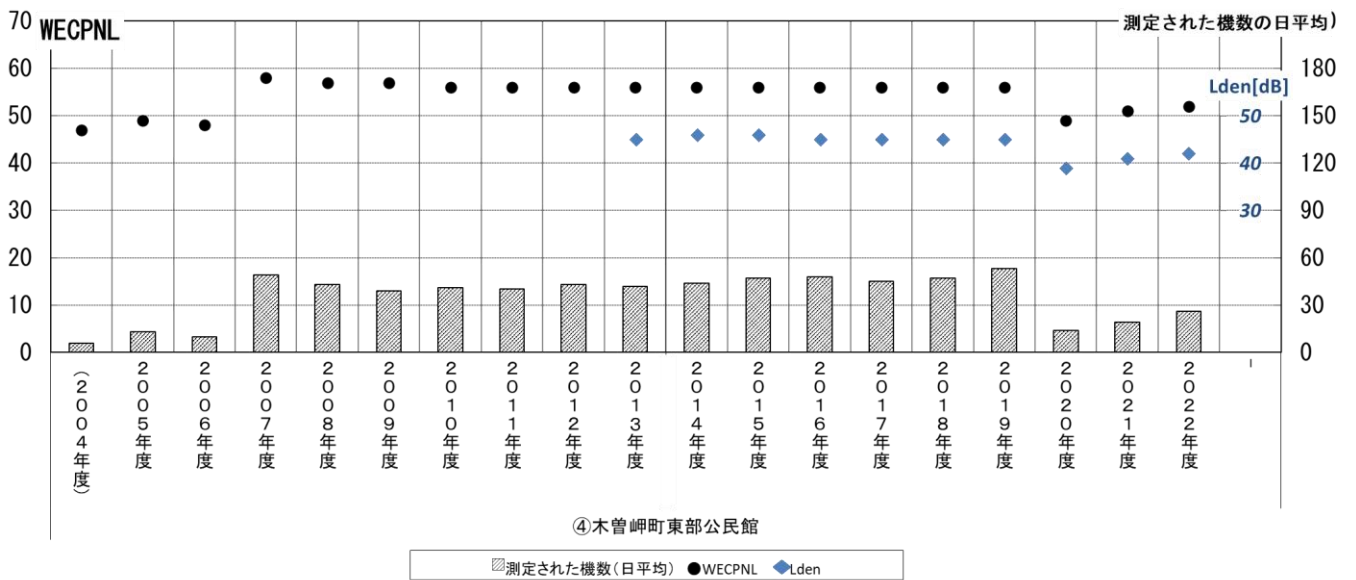
② 美浜町野間 (ちびっこ広場)



③ 弥富市立大藤小学校



④ 木曾岬町東部公民館

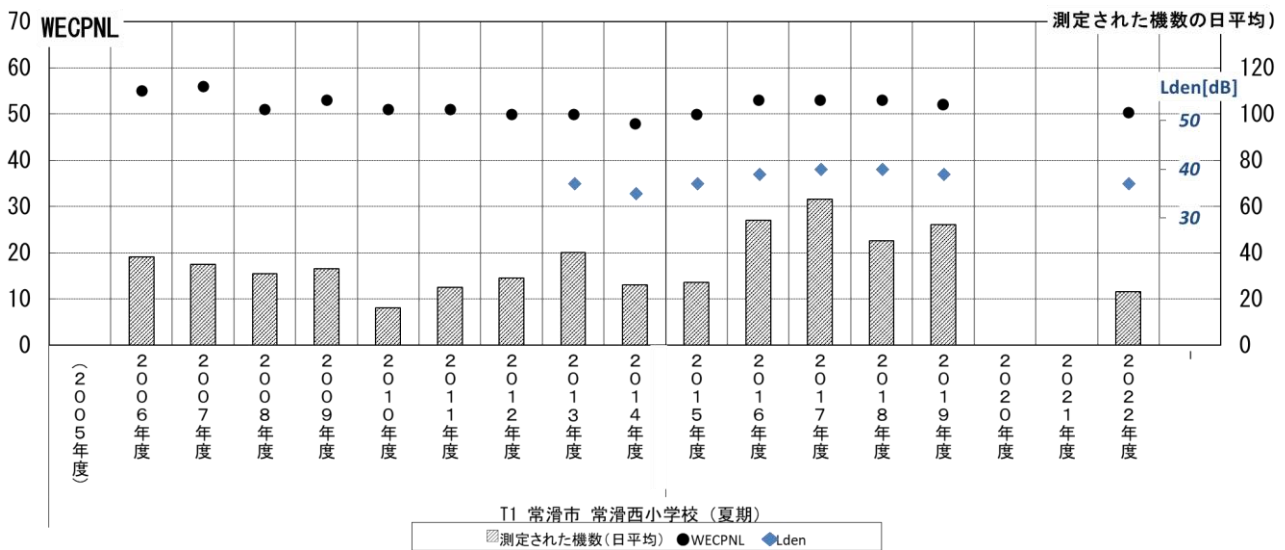


定期監視結果 夏期

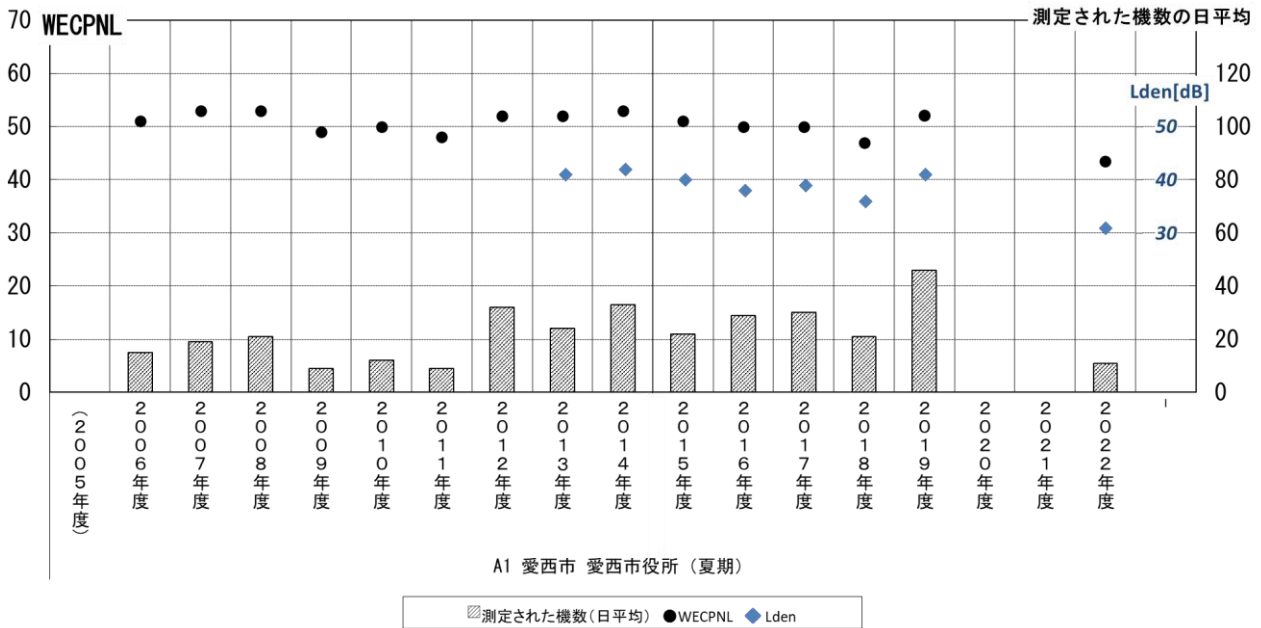
調査地点				定期監視結果（夏期）の推移																		
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機) ^(注1) 下段:WECPNL値 ^(注2)																		
				2005年度 ^(注3)	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 ^(注7)	2021年度 ^(注7)	2022年度	
愛知県	知多	T1	常滑市 常滑西小学校	2005年度	38	35	31	33	16	25	29	40	35	37	39	40	40	39	-	-	37	
				2006年度	55	56	51	53	51	51	50	(50)	(48)	(50)	(53)	(53)	(53)	(52)	-	-	(50)	
				2007年度	55	56	51	53	51	51	50	(50)	(48)	(50)	(53)	(53)	(53)	(52)	-	-	(50)	
	海部	A1	愛西市	愛西市役所	2005年度	15	19	21	9	12	9	32	24 ^(注5)	33 ^(注5)	22 ^(注5)	29	30	21	46	-	-	11
					2006年度	51	53	53	49	50	48	52	(52) ^(注5)	(53) ^(注5)	(51) ^(注5)	(50)	(50)	(47)	(52)	-	-	(44)
		A2	弥富市	十四山西部小学校	2005年度	54	64	62	52	52	58	73	64	84	66	64	58	56	83	-	-	25
					2006年度	55	57	56	54	54	54	56	(55)	(57)	(56)	(54)	(54)	(54)	(56)	-	-	(51)
		A3	弥富市	鍋田公民館	2005年度	86	81	78	66	63	72	80	70	96	67	62	63	58	94	-	-	39
					2006年度	59	60	59	58	58	59	59	(59)	(60)	(59)	(57)	(58)	(57)	(59)	-	-	(54)
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	2005年度	7	6	8	10	13	18	21	16	24	17	12 ^(注6)	19 ^(注6)	16 ^(注6)	20 ^(注6)	-	-	33 ^(注6)	
				2006年度	48	46	47	47	48	51	51	(49)	(51)	(50)	(48) ^(注6)	(51) ^(注6)	(51) ^(注6)	(49) ^(注6)	-	-	(44) ^(注6)	
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	2005年度	81 ^(注4)	60	70	44	55	67	74	58	86	58	57	61	44	83	-	-	33	
				2006年度	58 ^(注4)	54	54	52	53	53	56	(54)	(56)	(54)	(52)	(54)	(51)	(54)	-	-	(49)	
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	2005年度	1	0	1	1	1	0	15	9	22	10	15	20	16	17	-	-	7	
				2006年度	42	34	38	40	38	36	48	(44)	(49)	(47)	(46)	(49)	(47)	(49)	-	-	(41)	

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値として記載。
 注3:2005年度は、定期監視調査を2006年2月に1回目の調査を実施したため、調査結果なし。
 注4:東部公民館での測定値。
 注5:市江コミュニティセンターでの測定値。
 注6:陵成中学校での測定値。
 注7:2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で運航便数が減少したため定期調査は中止した。

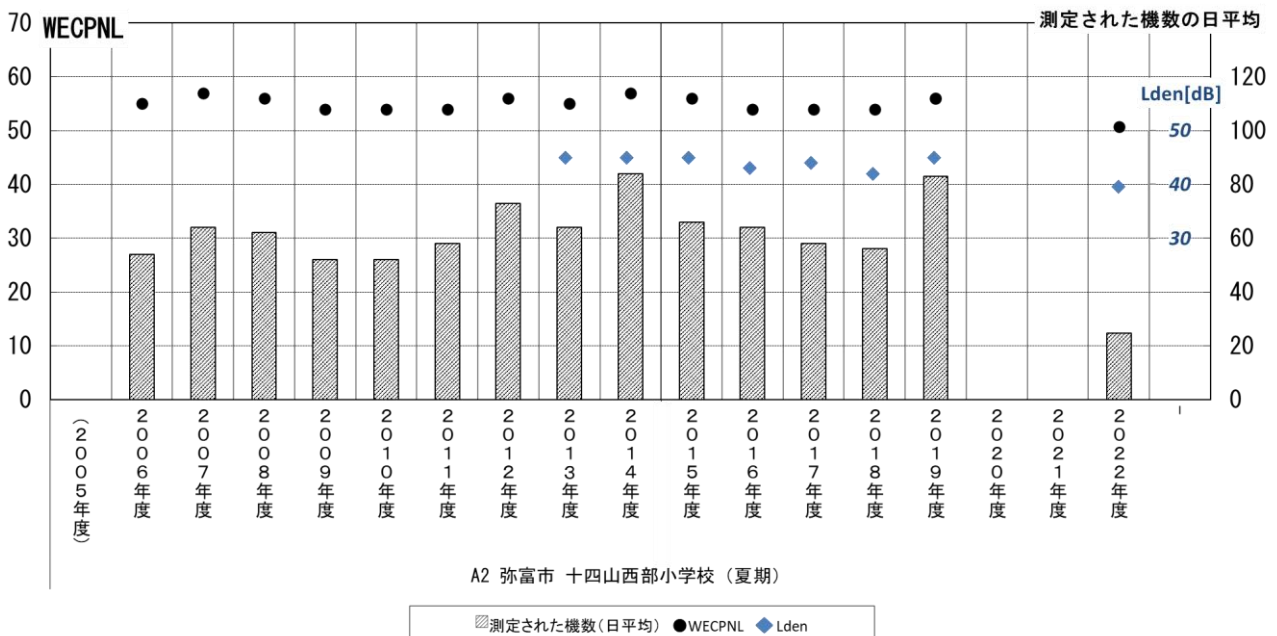
T1 常滑市常滑西小学校



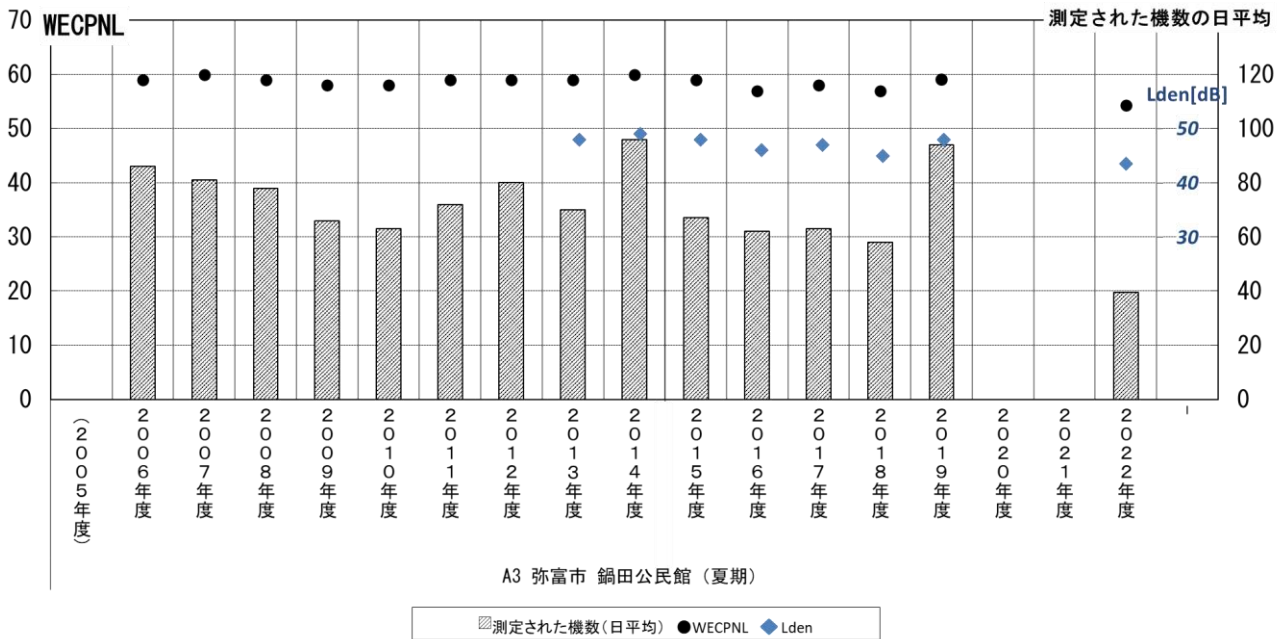
A 1 愛西市役所



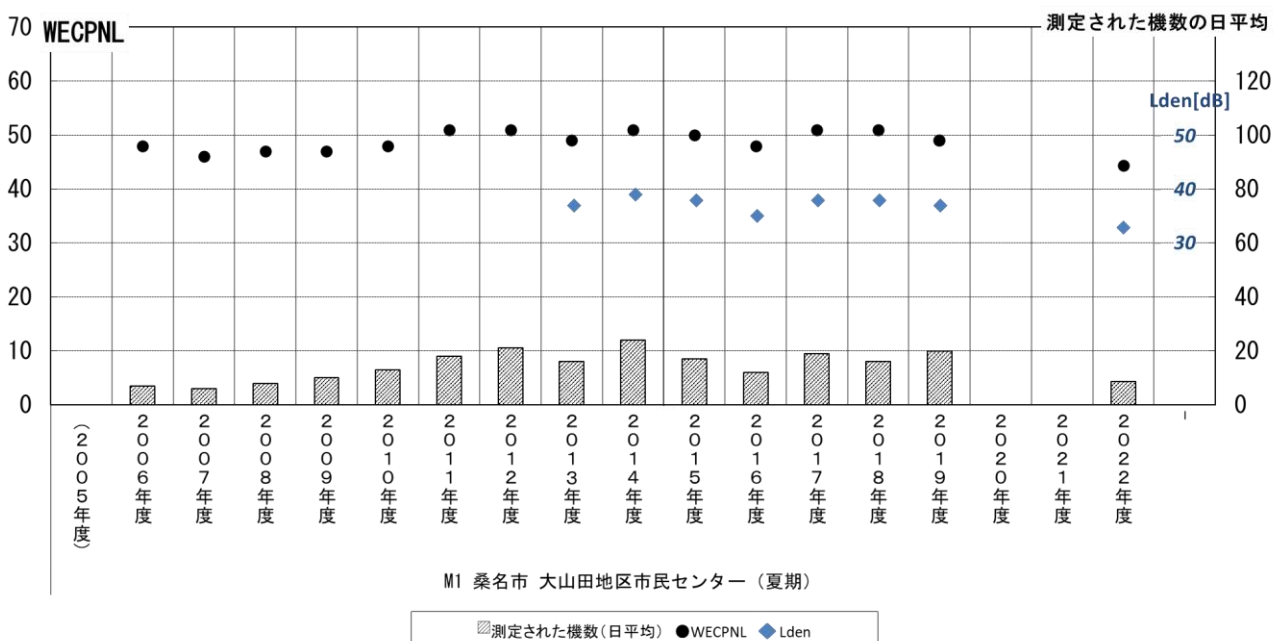
A 2 弥富市十四山西部小学校



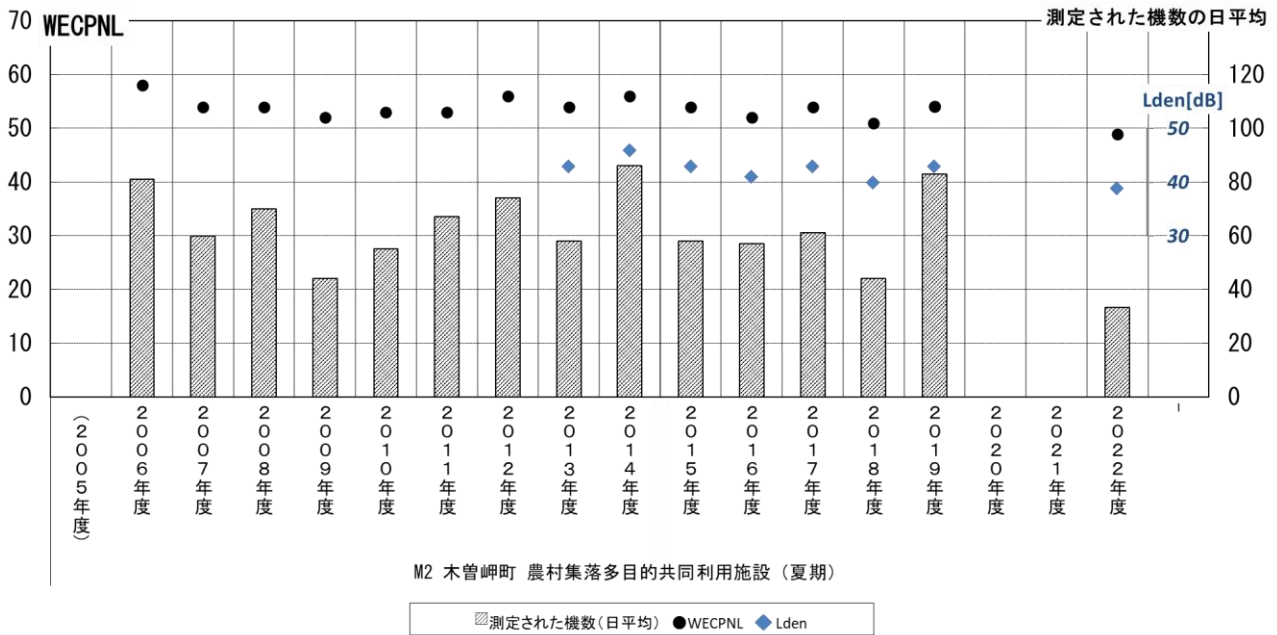
A 3 弥富市鍋田公民館



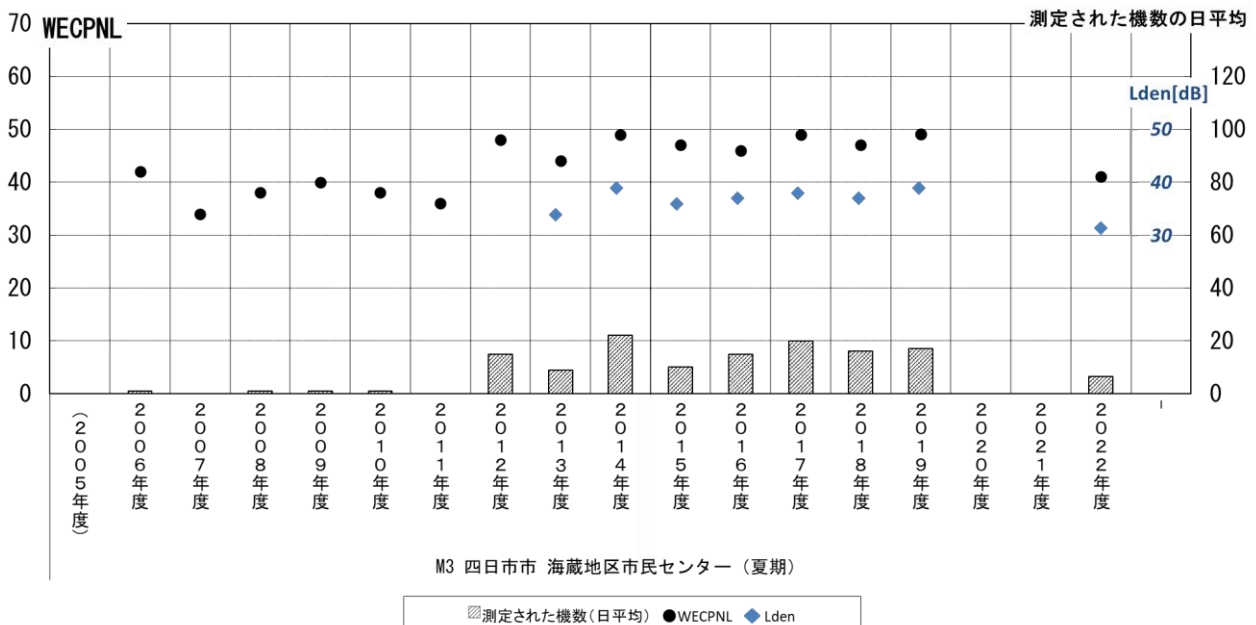
M1 桑名市大山田地区市民センター



M2 木曾岬町多目的共同利用施設



M3 四日市市海蔵地区市民センター

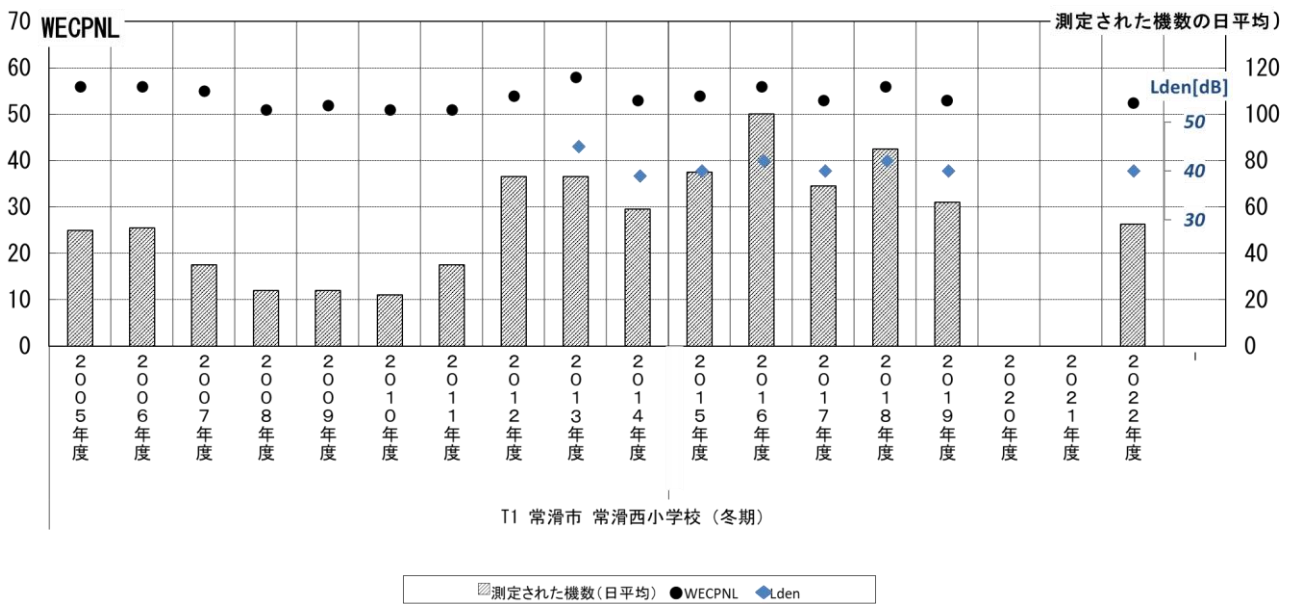


冬期

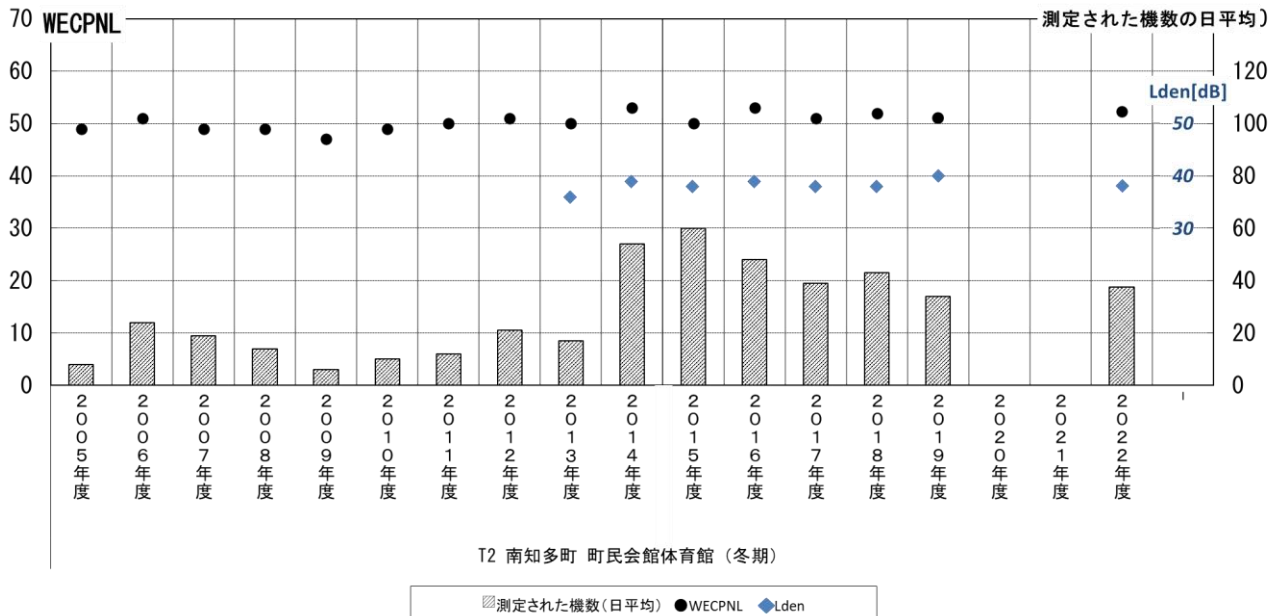
調査地点				定期監視結果（冬期）の推移																		
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機) ^(注1) 下段:WECPNL値 ^(注2)																		
				2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 ^(注3)	2021年度 ^(注3)	2022年度	
愛知県	T1	常滑市	常滑西小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	45	39	40	42	40	42	40	-	-	40	
				50	51	35	24	24	22	35	73	73	59	75	100	69	85	62	-	-	53	
				56	56	55	51	52	51	51	54	(58)	(53)	(54)	(56)	(53)	(56)	(53)	-	-	(53)	
	T2	南知多町	町民会館体育館	/	/	/	/	/	/	/	/	36	39	38	39	38	38	40	-	-	38	
				8	24	19	14	6	10	12	21	17	54	60	48	39	43	34	-	-	38	
				49	51	49	49	47	49	50	51	(50)	(53)	(50)	(53)	(51)	(52)	(51)	-	-	(52)	
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	/	/	/	/	/	/	/	39	40	40	40	40	41	39	-	-	40		
				11	21	16	11	12	13	23	26	25	26	36	27	32	40	29	-	-	24	
				50	52	49	46	48	49	51	52	(52)	(54)	(53)	(53)	(53)	(55)	(53)	-	-	(53)	

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値と記載。
 注3:2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で運航便数が減少したため定期調査は中止した。

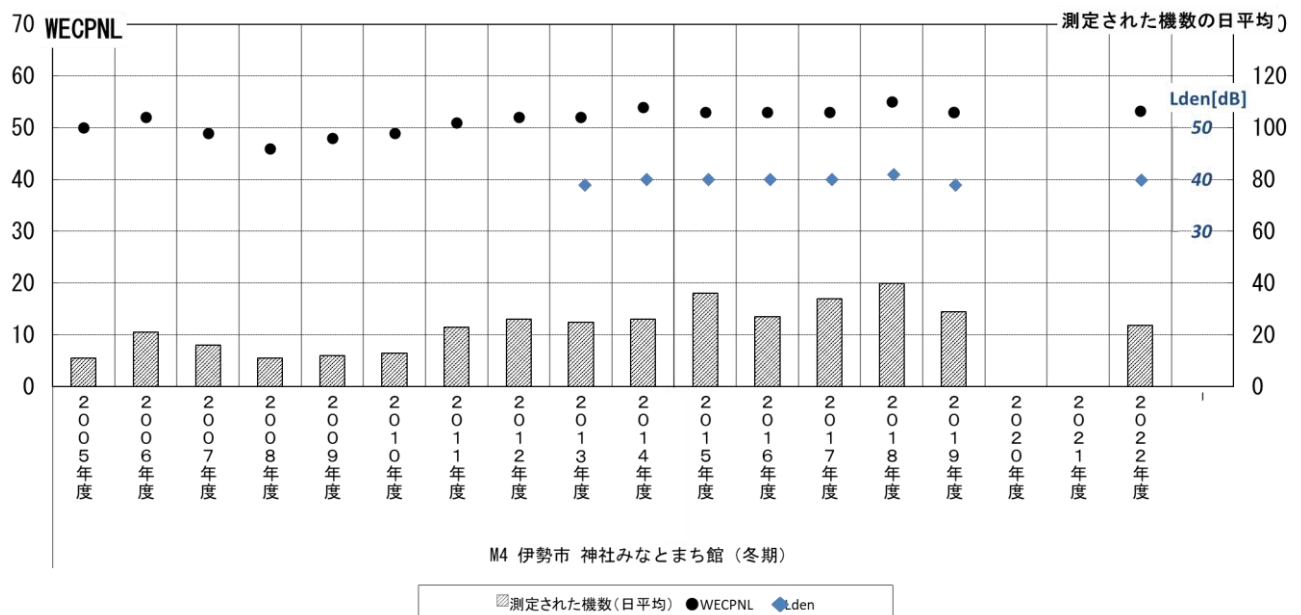
T 1 常滑市常滑西小学校



T2 南知多町町民会館



M4 伊勢市神社みなとまち館



参考資料 2

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263	280	265	250	190	150	105	98	110	72	58
うち名古屋市	4	29	13	15	13	25	13	18	2	27	9	6	3	0	0	2	3	2	3
岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	2	3	1	0	2
三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27	26	72	88	98	122	153	97	19	7	8
在住不明 その他	0	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	4
計	106	658	545	471	295	329	230	264	294	306	337	338	288	273	261	199	131	81	72
累積	106	764	1,309	1,780	2,075	2,404	2,634	2,898	3,192	3,498	3,835	4,173	4,461	4,734	4,995	5,194	5,325	5,406	5,478

② 2022年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
飛行経路・高度へのお叱り 55件	<ul style="list-style-type: none"> ○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい ○陸域を低空で飛ばさいでほしい(海域を飛ばすように。) ○我が家の上空を飛行するな。(低くて脅威だ。) ○飛行経路を知りたい。(飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。) ○開港時に比べて飛行経路が守られていないのではないか。(最近、高度が低い)
航空機騒音に対するお叱り 14件	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。(特に深夜の騒音で眠れない) ○飛行機の音がうるさい。(最近、また気になるようになった。) ○最近、飛行機の通過が増えて、飛行機の音がうるさい。 ○ヘリコプターの音がうるさい。 ○着陸機の到着時の騒音がうるさい。

参考資料 3

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2016年4月改定

中部国際空港株式会社

目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1. 6 環境監視結果の公開等

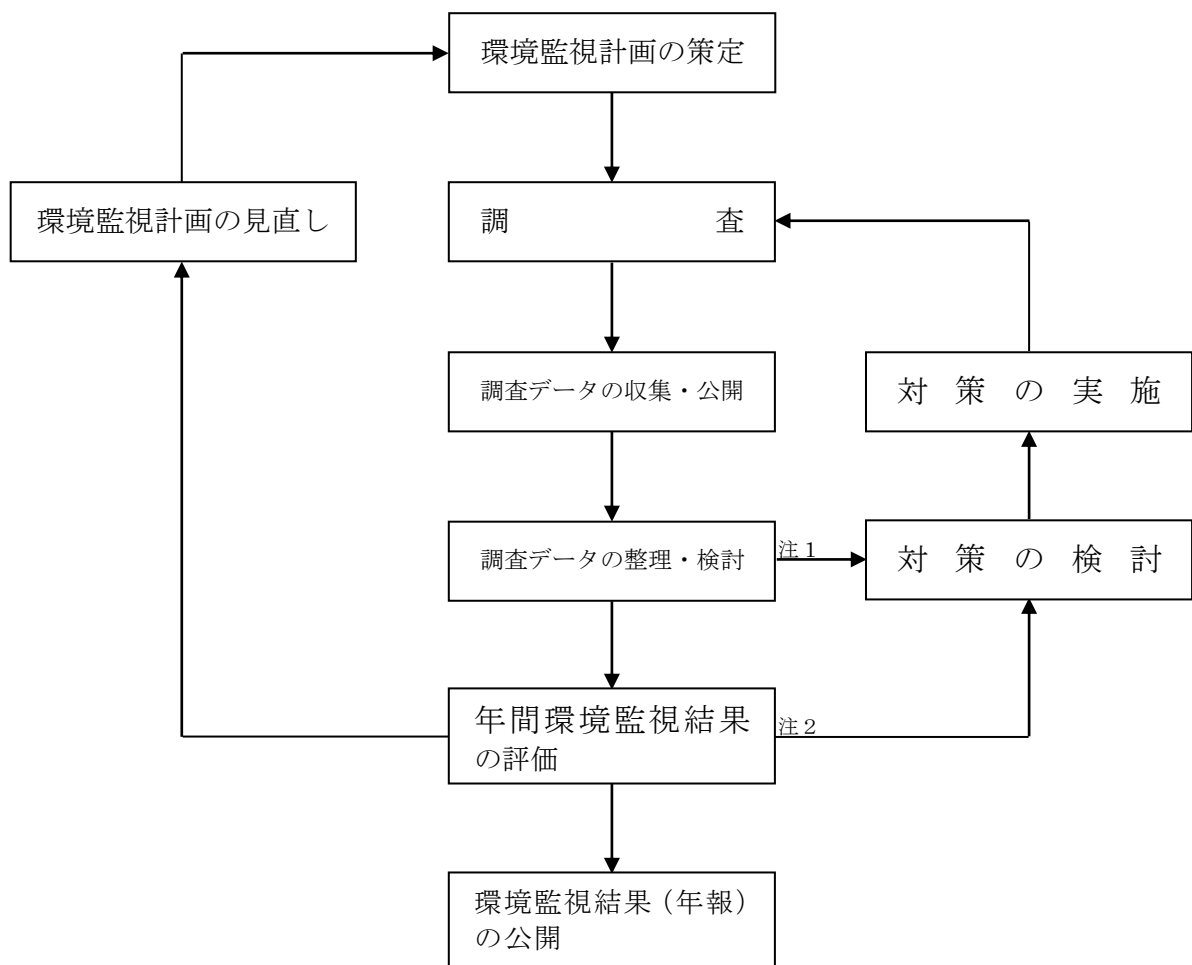
環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

<環境監視結果の公開方法>

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第 2 章 環境影響要因

2. 1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2. 2 場所及び規模

(1) 場所 (図 2-1 参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2. 3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図 2-2、2-3 参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B767、B787、B777、B747、A320、A330、A340、DH8、CRJ等

(4) 離着陸回数 約9.2万回/年 (2014年度実績)

2. 4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

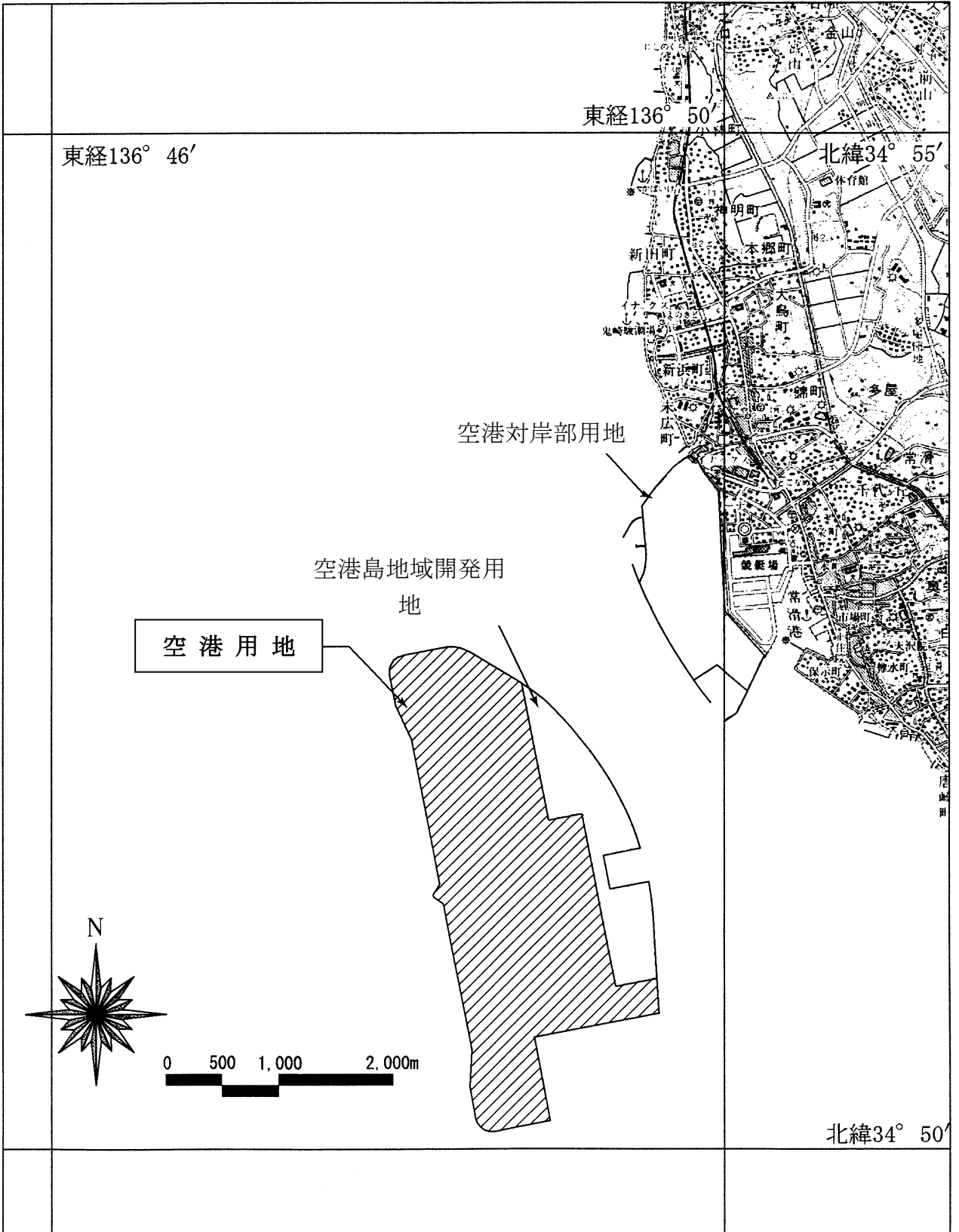
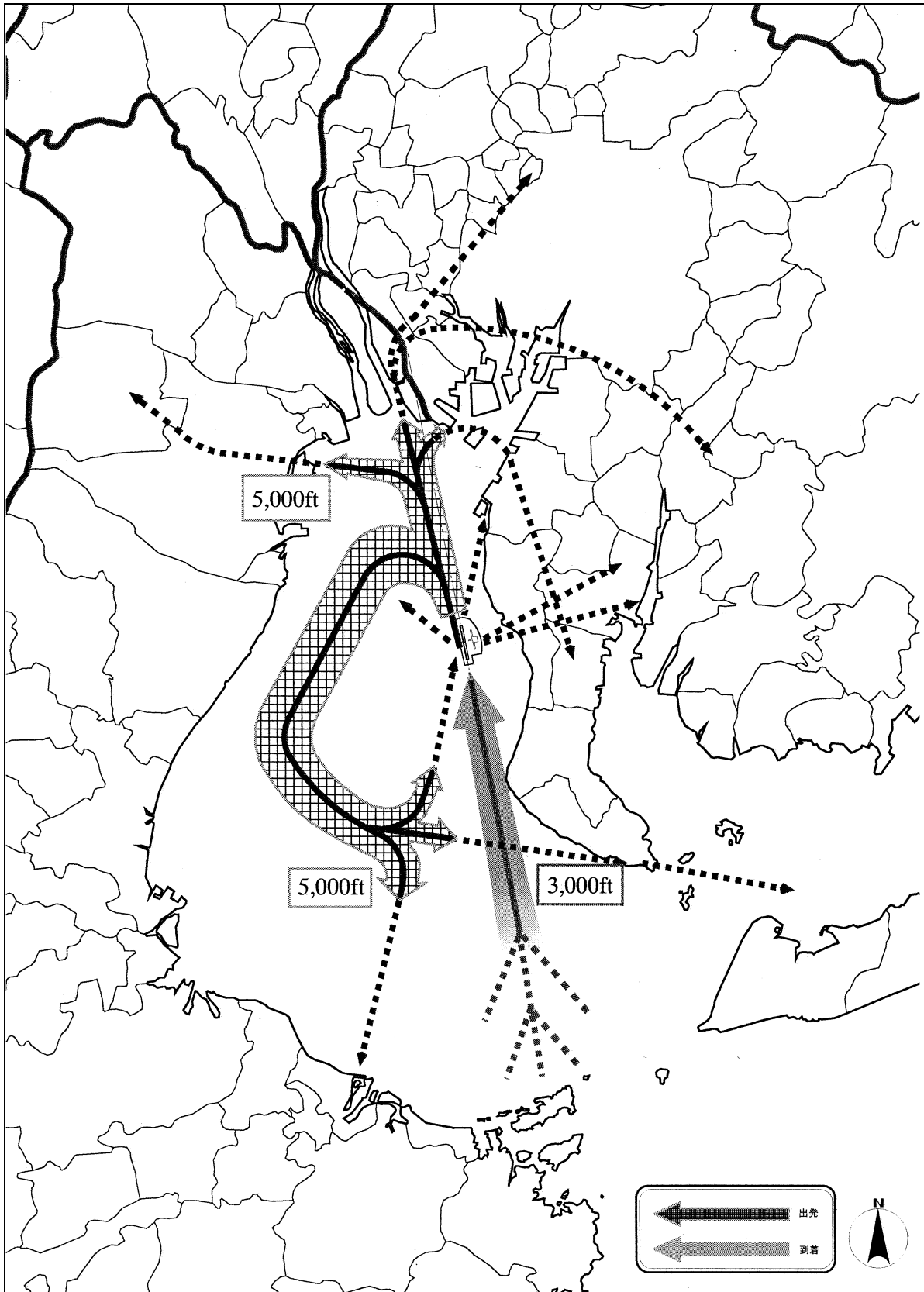
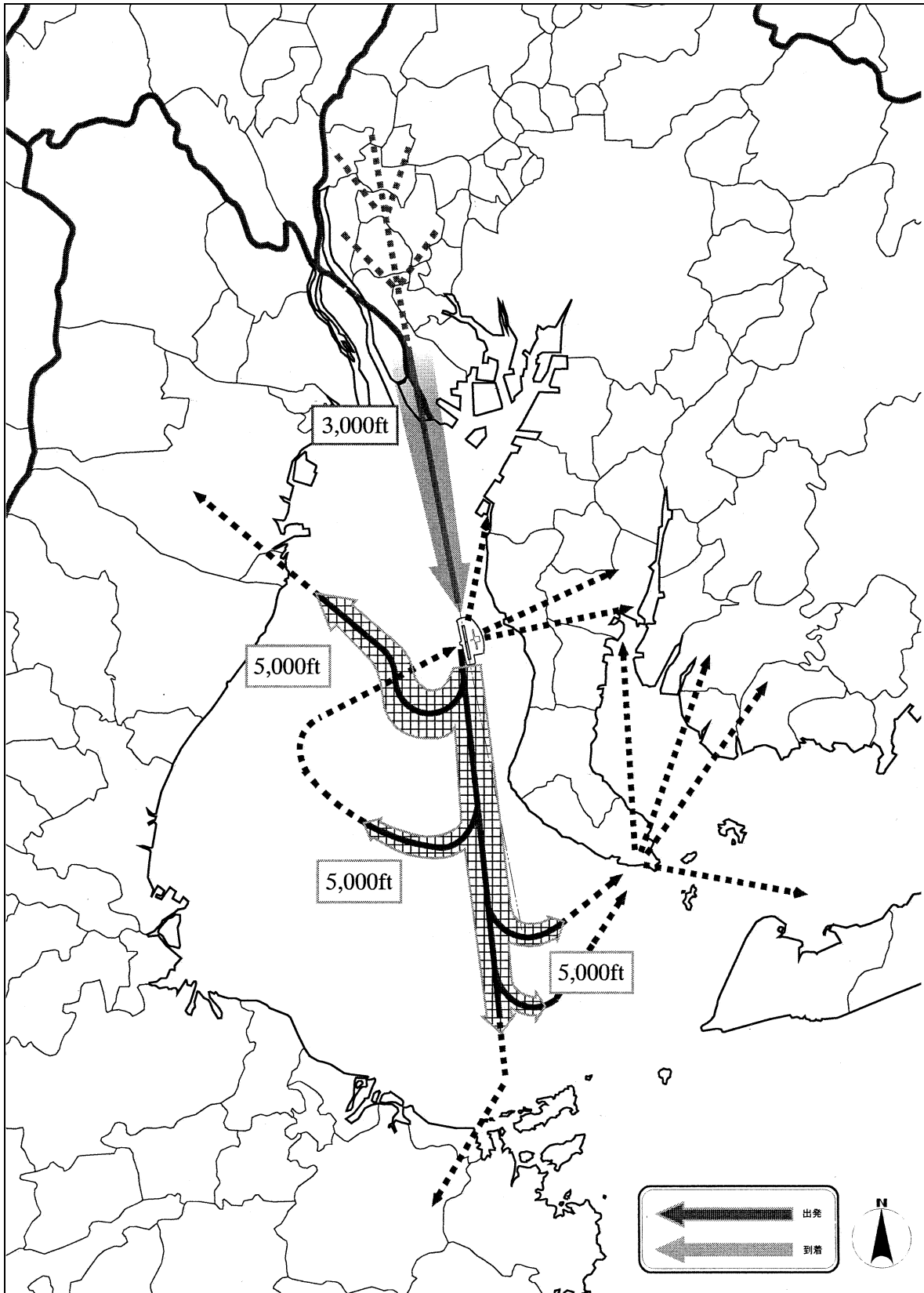


図2-1 場所及び形状



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路（南向き運用：6～23時）

第3章 環境監視計画

3. 1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目			調査地点	調査頻度・時期	調査方法
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 注	図3-1 (9地点)	夏期7箇所 (T1, A1, A2, A3, M1, M2, M3) 冬期3箇所 (T1, T2, M4)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

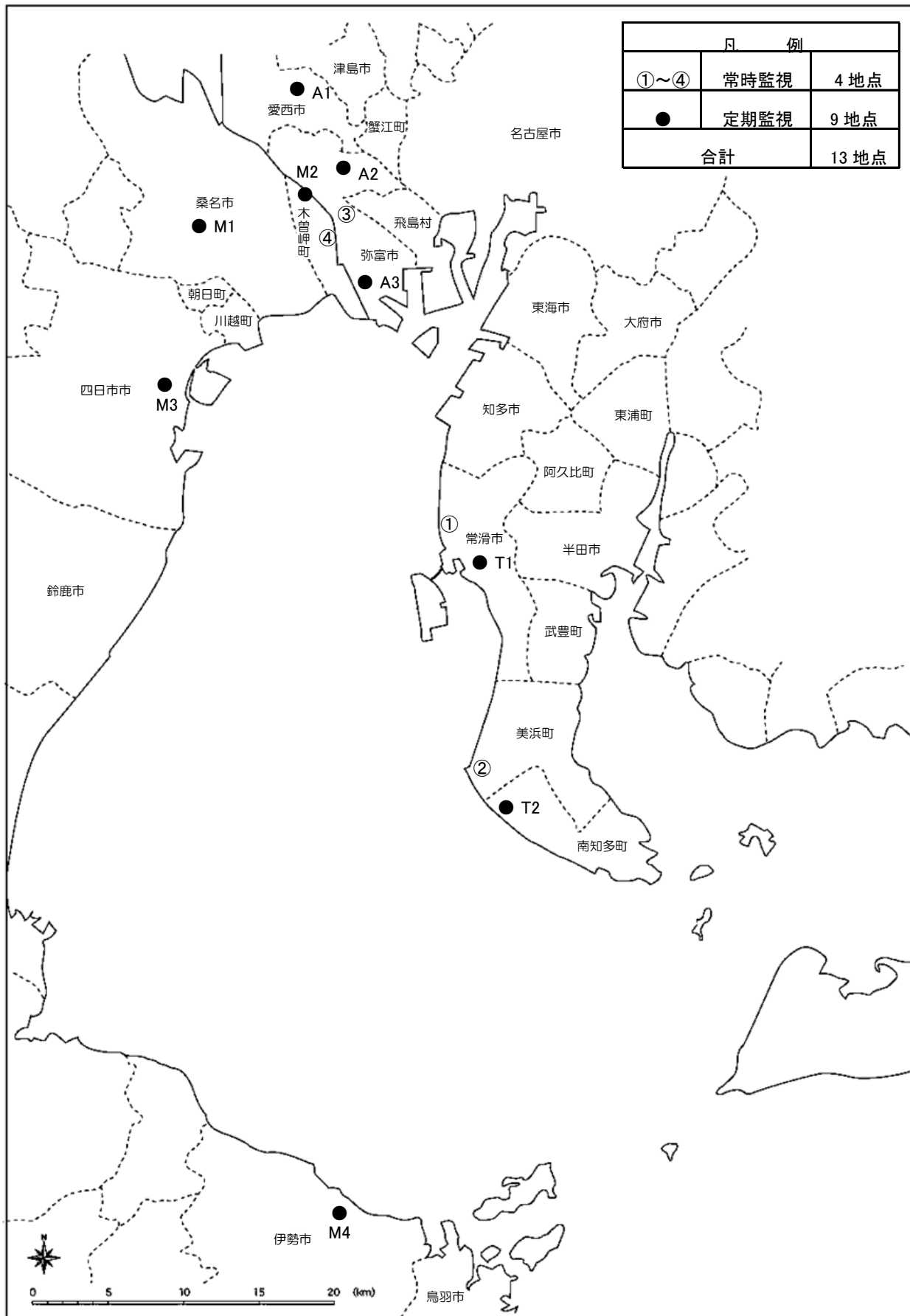


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所	調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期、冬期
T2	南知多町町民会館	冬期

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所	調査時期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期

(3) 三重県

地 点	場 所	調査時期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号、改正平成19年環境省告示第114号)及び「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成24年11月環境省)に定める方法

3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

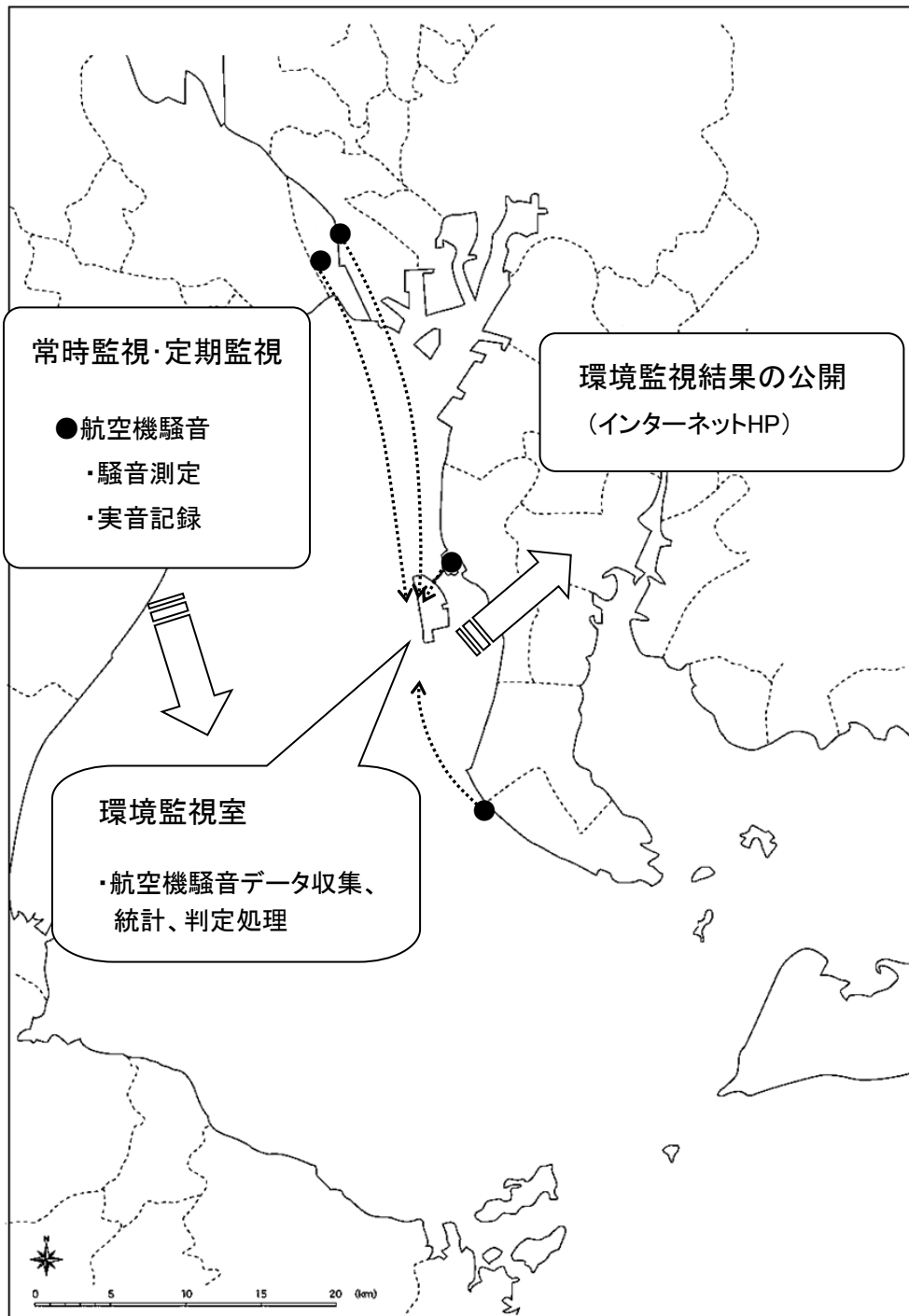


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図